

# Canon

## EOS-1N

## EOS-1N DP

## EOS-1N HS

## EOS-1N RS



使用説明書



日本語版

# EOSシリーズカメラの最高峰、EOS-1 Nの世界へようこそ！

---

キヤノン製品のお買上げ誠にありがとうございます。

世界中のプロフォトグラファー達の心の眼となり、数々の決定的瞬間をとらえ続けてきたEOS-1。EOS-1 Nは、プロ・ハイアマのみなさまからEOS-1にお寄せいただいた生の声に真摯に応えるべく、キヤノンが研鑽・蓄積してまいりましたハイテクノロジーを総結集して誕生した、最高級AF（Auto Focus／オートフォーカス）一眼レフカメラです。開発コンセプトは『意志に従う高度な自動化』。EOS-1 Nは、あなたの創造的な映像表現に貢献するかずかずの個性的な特徴を備えています。

- ○高精度・高速5点AF搭載 ○サブ電子ダイヤルによるリアルタイム測距点選択  
○移動被写体に追従する動体予測AFなど、より構図優先の高度で迅速なピント合わせを実現。しかも、USM・超音波モーター搭載の高級タイプEFレンズ装着時には、AFのまま最終ピントは自分の思い通りに決めることができます。
- ○5点AFに連動した16分割評価測光 ○豊富な測光方式・露出モード ○1／8000秒から30秒の高精度シャッター ○5点AF対応・3点自動調光などの高度な露出制御機能を搭載、あらゆる撮影状況にオートで最適対応します。しかし、ピント同様、最終露出は、リアルタイム露出補正により、あなた自身で任意に決めることができます。
- ○ダブル電子ダイヤルによるシンプル操作 ○秒間約6コマの連続撮影（EOS-1 N HS） ○自動巻き戻し音の大幅な静粛化を実現しています。
- 14種のカスタム機能により、人それぞれの撮影スタイルに合わせた、さまざまなご要望にお応えします。
- EOS-1同等以上の優れた防滴性・耐久性・耐環境性を備えています。

本使用書をよくお読みいただきました上、EOS-1 Nを存分に駆使され、あなたならではの感動あふるる映像表現を極めていただきたいと存じます。

## EOS-1 N には、標準機以外に以下の機種が用意されています。

- EOS-1 N DP：EOS-1 N に単 3 形電池パックBP-E1を組み合わせ、撮影状況に応じてリチウム電池2CR5と単 3 形電池を切り換えて、使用できるようにした機種。(95ページ参照)
- EOS-1 N HS：EOS-1 N にパワードライブブースターE1を組み合わせ、高速連続撮影と、給送本数の増加を可能にした機種。(98ページ参照)
- EOS-1 N RS：常に撮影の対象をファインダーで確認できるようミラーに固定式のハードコートニューベリクルミラーを採用し、さらにレリーズタイムラグ（シャッターボタンを押してから実際にシャッターが切れるまでの時間差）を0.006秒にした機種。1秒間に約10コマの高速連続撮影が可能。(101ページ参照)

### ● ご使用になる前の注意

- 結婚式や海外旅行など大切な撮影をする前には必ず試し撮りをして、カメラが正常に機能することを確認してからお出かけください。
- EOSはキャノンEFレンズとの間で、ピントや露出を調整するために専用の電子マウントを採用しています。他社製のレンズをEOSに使用するとカメラまたはレンズが正常に作動しないことがあります。ご注意ください。また、EOSと他社製品とを組み合わせるとお使いになって生じた事故や故障につきましては保証いたしかねますのであらかじめご了承ください。

### ● 本文中の以下のマークのついた欄は、それぞれ次のような内容になっています。

：故障などカメラに不都合が生じる恐れのある注意事項が書かれています。

：カメラを操作するうえで知っておいていただきたい事項が書かれています。

：カメラ操作上あるいは撮影時のヒントが書かれています。

- 撮影の失敗や事故を未然に防ぐため、6ページの「カメラ取り扱い上のご注意」もお読みください。
- 読み終えた使用説明書は必要な時いつでも取り出せる場所において、ご活用ください。

	カメラ取り扱い上のご注意 ……………6
<b>[I] 撮影前の準備と簡単な撮影</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ストラップ（吊りひも）の取り付け方……………14</li> <li>1. 電池のセット……………15</li> <li>2. 電池容量の確認（撮影可能本数）…16</li> <li>3. メインスイッチ……………17</li> <li>4. 基本機能の設定と変更方法……………18</li> <li>5. レンズの取り付け、取り外し……………19</li> </ul>
<b>[II] AFモードと測光方式の変更</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 5点AFフレームについて（<b>☑</b>） ……30 <ul style="list-style-type: none"> <li>●AFフレームの選択 ……………30</li> <li>●フォーカスロック撮影……………32</li> </ul> </li> <li>2. AFモードの切り換え ……………33 <ul style="list-style-type: none"> <li>●ONE SHOTオートフォーカス ……34</li> <li>●AI SERVOオートフォーカス ……35</li> </ul> </li> <li>3. オートフォーカスが苦手な被写体……………36</li> </ul>
<b>[III] 撮影目的に合わせた設定</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. シャッター優先AE 撮影 <b>[Tv]</b> ……50</li> <li>2. 絞り優先AE 撮影 <b>[Av]</b> ……53</li> <li>3. 深度優先AE 撮影 <b>[DEP]</b> ……56</li> </ul>
<b>[IV] 撮影条件に応じたカメラの機能設定</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. フィルム感度を手動で設定する ……67</li> <li>2. フィルム巻き上げモードを変更する……………68</li> <li>3. フィルム巻き戻しの変更（<b>☑</b>） ……70</li> <li>4. セルフタイマーを利用して撮る（<b>☑</b>） ……71</li> </ul>
<b>[V] ストロボを利用しての撮影</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. EOS専用スピードライトを利用する……………78 <ul style="list-style-type: none"> <li>●ストロボ発光自動低減コントロールについて……………78</li> </ul> </li> </ul>
<b>[VI] カスタム機能</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. カスタム機能の設定と解除……………83 <ul style="list-style-type: none"> <li>●カスタム機能の設定……………83</li> <li>●カスタム機能の解除……………85</li> </ul> </li> </ul>
	EOS-1 N DPをお買い求めの方へ ……95 EOS-1 N HSをお買い求めの方へ ……98 ノーマルグリップへの交換 ……100 EOS-1 N RSをお買い求めの方へ ……101

EOS-1 Nで新しく加わった機能に **☑** を付けてあります。EOS-1をお使いの方は、**☑** のマークを主に読んで下されば短時間で操作が解ります。

すぐ撮影を始める方のために …………… 8	各部の名称……………10
6. 鮮明なファインダーに調節する ……20	9. カスタム機能について……………26
7. シャッターボタンと 自動ピント合わせ……………21	10. プログラムAE撮影 [P]……………27
8. フィルムの入れ方、取り出し方 ……23	●6秒タイマーについて……………28
●フィルムの入れ方……………24	●プログラムシフトについて……………28
●フィルムの取り出し方……………26	●フィルム残数表示について……………28
●フィルムを途中で取り出す……………26	
4. マニュアルフォーカス (手動ピント合わせ) ……37	6. AEロック撮影 ………………41
●USMレンズのフルタイム マニュアル……………37	7. 露出の補正方法……………43
5. 測光方式の変更方法……………38	●サブ電子ダイヤルによる補正……………43
●評価測光 (☉) ………………39	●露出補正ボタンによる補正……………45
●部分測光 (☒) ………………39	8. AEB撮影……………46
●ファインスポット 測光方式 (☐) (☑) ……40	
●選択したAFフレームによる 深度優先AE撮影 ………………56	4. マニュアル露出撮影 [M]……………60
●自動選択AFフレームによる 深度優先AE撮影 ………………58	●内蔵の露出計を利用する……………60
●アイピースシャッター について (☑) ………………72	5. バルブ撮影 [bulb]……………62
5. ミラーアップ撮影 (☑) ………………73	6. 多重露出撮影 [ ] ………………64
6. 赤外線写真撮影……………74	9. カメラの全ての設定を解除する……………76
7. 被写界深度の確認……………75	●設定機能の一括解除……………76
8. 表示パネルの照明……………75	●カスタム機能の一括解除……………76
2. ストロボの調光補正 (☑) ………………79	3. 汎用ストロボを利用する……………81
●ストロボ調光補正できる スピードライト……………80	●シンクロ接点について……………81
2. カスタム機能で変更できる 内容 (☑) ………………86	●カスタム機能 No. F-5 とF-11の併用……………94
「故障かな？」とお考えになる前に ……107	カスタム機能一覧……………119
プログラム線図……………109	アフターサービスについて……………119
主な性能の一覧……………111	
機能設定早わかり……………115	

# カメラ取り扱い上のご注意

## 1. 手入れと保管について

- (1) カメラは精密機械です。落としたりショックを与えたりしないでください。
- (2) このカメラは防水構造になっていませんので、水中では使用できません。万一、使用中に濡れてしまったときは、早めに最寄りのキャノンサービスセンターにご相談ください。また水滴がついたときは乾いたきれいな布で、潮風にあたったときは固くしぼったきれいな布でよくふきとってください。
- (3) 直射日光下の車の中などは予想以上に高温になります。カメラの故障の原因となることがありますのでこのような中にカメラを放置しないでください。
- (4) カメラには精密な回路が内蔵されていますので、絶対に自分で分解しないでください。
- (5) レンズ、ファインダー、ミラー、フォーカシングスクリーン、フィルム室内などにゴミがついているときは、市販のブロアブラシで吹き飛ばすだけにしてください。カメラボディおよびレンズは有機溶剤を含むクリーナーなどでふかないでください。特に汚れがひどいときは、最寄りのキャノンサービスセンターにご相談ください。
- (6) シャッター幕は非常に薄い幕でできています。お手入れには必ずブローワーを使用し、あまり強く吹かないでください。強く吹くとシャッター幕の変形や破損の恐れがあります。またフィルムを出し入れする際にもシャッター幕に触れないようご注意ください。
- (7) カメラの電気接点は手で触らないでください。腐食の原因となることがあります。腐食が生じるとカメラが作動不良を起こすことがあります。
- (8) カメラを長期間使用しないときは電池室から電池を抜き取り、風通しが良く、涼しい乾燥した場所に保管してください。保管期間中でも、ときどきシャッターを切るようにして作動することを確認してください。
- (9) カメラの保管場所として実験室などのような薬品を扱う場所はサビ・腐蝕などの原因になるため避けてください。同様にタンスの中なども避けてください。
- (10) 長期間使用しなかった後や、海外旅行など大切な撮影の前には、各部の作動を最寄りのキャノンサービスセンター、またはご自身でチェックしてからご使用ください。
- (11) レンズを外したときは、電子接点やレンズ面を傷付けないように、取り付け面を上にして置いてください。
- (12) メインスイッチを **II** にしてもカメラは表示パネルのために微弱な電流を必要とします。撮影本数に影響はありません。

## 2. 表示パネルについて

カメラの表示パネルは液晶を使用しています。液晶はその性質上、通常の使用でも表示が薄くなり読みにくくなることがあります。その場合は最寄りのキャノンサービスセンターで液晶の交換をご用命ください（保証期間外有料）。なお、液晶の特性で低温下で表示反応がやや遅くなったり、60℃ぐらいの高温下で表示が黒くなったりすることがありますが、常温に戻れば正常に表示されます。

### 3. 表示パネルのbc表示点滅について

電池の容量が極端に低下したとき、カメラが誤動作を起こしたとき、あるいは故障したときは表示パネルにbcが点滅することがあります。以下の操作を行ってください。

- (1) バッテリーチェックボタンで電池の容量を確認します。もし電池の容量が低下していれば電池を交換してください。
- (2) 電池の容量が正常なら、一度電池をカメラから取り出し、再度入れ直してください。
- (3) 一度シャッターを切ります。  
以上の操作を行ってbcの点滅が消えれば、正常に撮影を続けることができます。しかしこの操作を繰り返してもbcの点滅が消えないときはカメラの故障です。最寄りのキヤノンサービスセンターにお持ちください。

### 4. 電池について

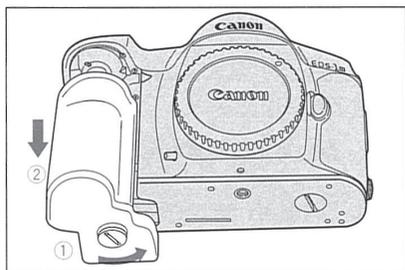
カメラは電池を入れて、はじめて正しく作動します。次のようなときは、まず電池の容量を確認してください。

- (1) 電池を交換したとき
  - (2) 長期間カメラを使用しなかったとき
  - (3) シャッターが切れなくなったとき
  - (4) 寒冷地で撮影するとき
  - (5) その他、大切な写真を撮るとき
- 電池をカメラに入れるときは、電池の接点の汚れや指紋などをよく拭き取ってください。そのまま入れると接触不良や腐蝕の原因となることがあります。
  - 電池の分解や充電、高温下での放置、および接点をショートさせたり火の中に投げ入れることは、危険ですので絶対にしないでください。
  - リチウム電池は低温特性にも優れていますが、0℃以下ではやや電池の性能が低下します。寒冷地でご使用になるときは予備の電池を用意し、ポケットなどに入れて保温しながら交互に使用することをおすすめします。

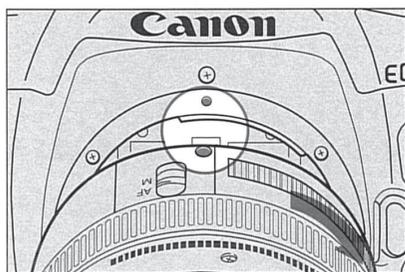
### 5. 電池容量の低下とカメラの作動について

表示パネルの電池チェックマークが点滅または無表示になっても、シャッターが切れば適正な写真が撮影されます。ただし、電池の容量が低下してくると、自動巻き上げや自動巻き戻しができないことがあり、表示パネルにbcマークが点滅します。新品の電池に交換すると、フィルムの巻き上げは継続され、フィルムの巻き戻しは途中巻き戻しボタン（）を押せば継続されます。

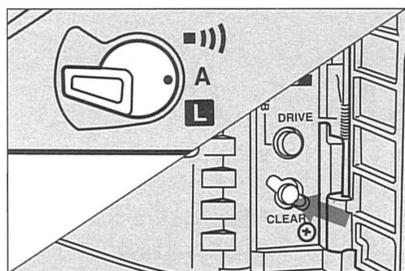
# すぐ撮影を始める方のために



- 1 電池を入れます。  
グリップを外してリチウム電池2CR5を入れます。

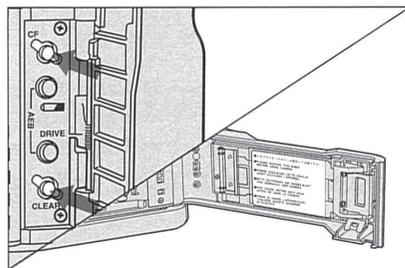


- 2 レンズを取り付けます。  
レンズとカメラの赤いレンズ取り付け指標を合わせて、カチリと音がするまでレンズを矢印方向に回します。



- 3 メインスイッチをAに合わせます。

- 4 側面カバー内のクリアボタンを押します。

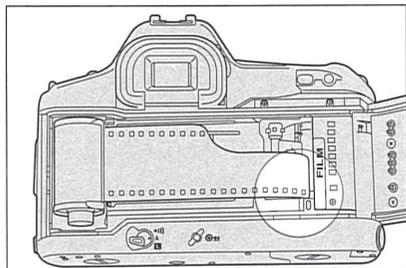


- 5 側面カバー内のカスタム機能セットボタンを押して、クリアボタンを押します。

(上記4～5はカメラが初期状態になっていれば操作は不要です。)

- 6 背ぶたの内側に付いているプラスチックカバーを外します。

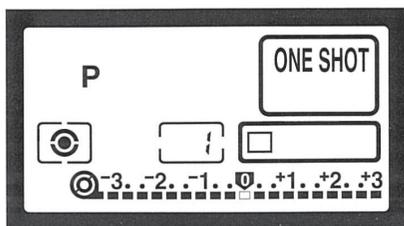
## すぐ撮影を始める方のために



### 7 フィルムを入れます。

フィルムの先端をオレンジ色のマークに合わせて、パチンと音がするまで背ぶたを閉じます。

- フィルムは最初の撮影コマまで自動的に巻き上げられます。



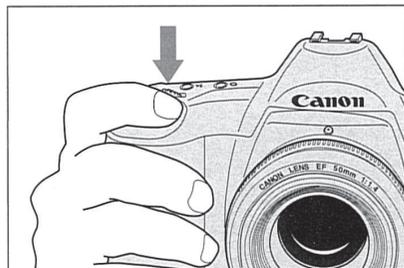
### 8 表示パネルにPが表示されていることを確認します。



### 9 ピントを合わせます。

ファインダーをのぞいて構図を決め、軽くシャッターボタンを押します。5点のAFフレームのいずれかでピントが合います。

- ファインダー内に合焦マーク（●）が点灯します。



### 10 撮影します。

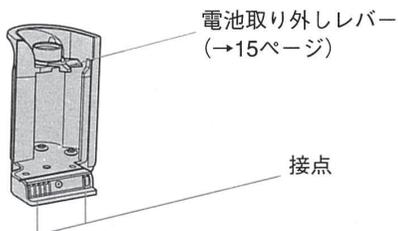
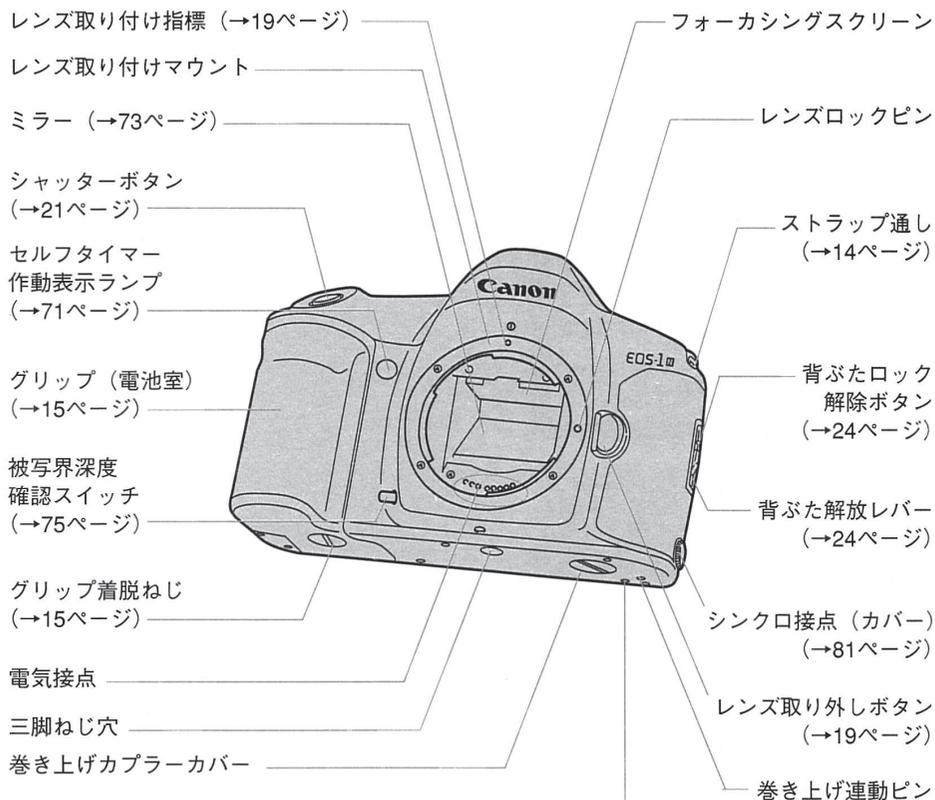
さらにシャッターボタンを押して撮影します。

### 11 フィルムを取り出します。

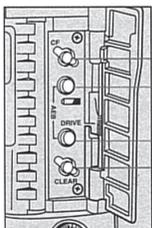
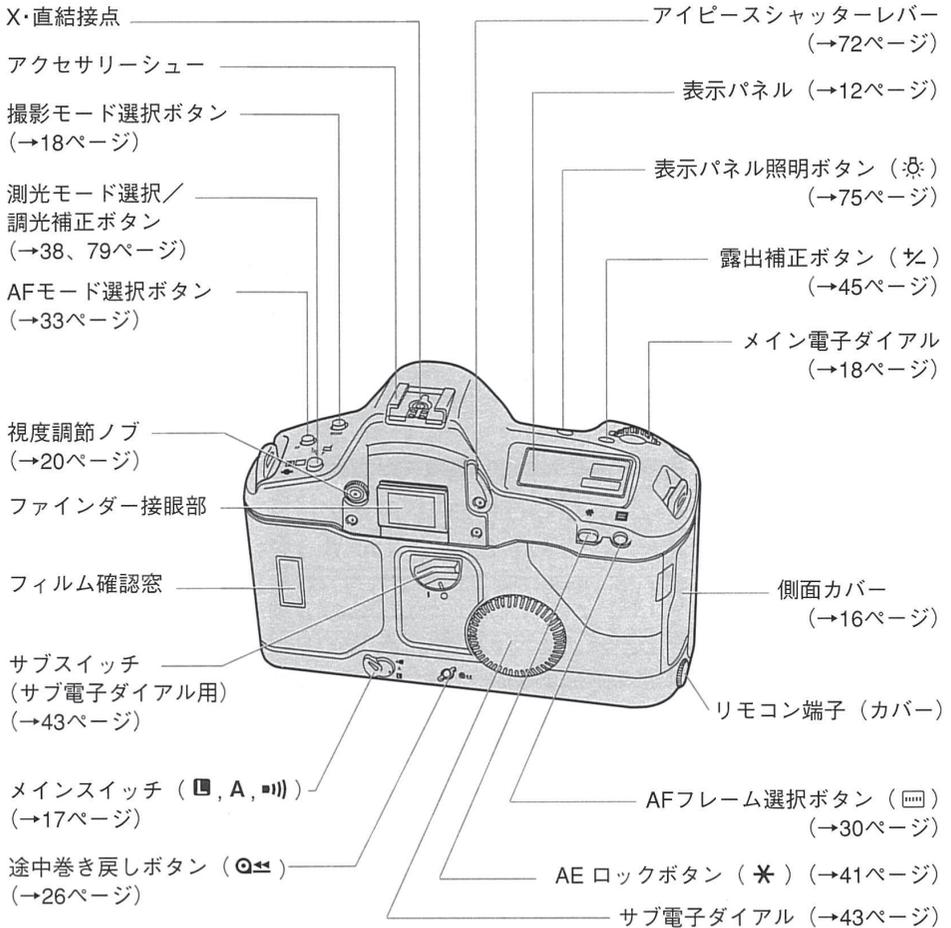
1本のフィルムを撮り終わると、フィルムは自動的に巻き戻されます。巻き戻しが終了すると表示パネルにフィルム巻き戻し終了のマーク（Ⓢ）が点滅します。背ぶたを開けてフィルムを取り出します。

# 各部の名称

- 本文中に (→■ページ) と表示されているのは、その箇所と関連のあるページを示しています。あわせてお読みください。



## 各部の名称

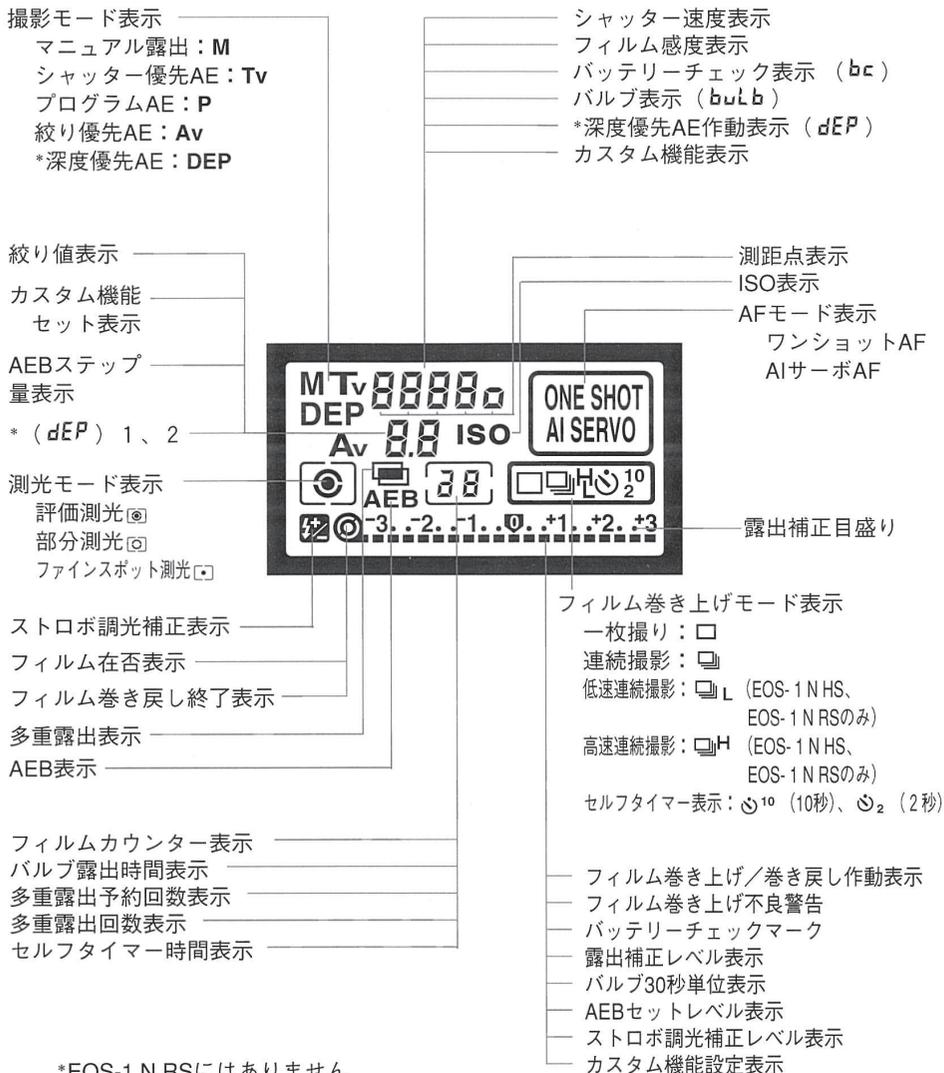


- カスタム機能セットボタン (→83ページ)
- バッテリーチェックボタン ( **■** ) (→16ページ)
- 巻き上げモードセットボタン (→68ページ)
- クリアボタン (→76ページ)

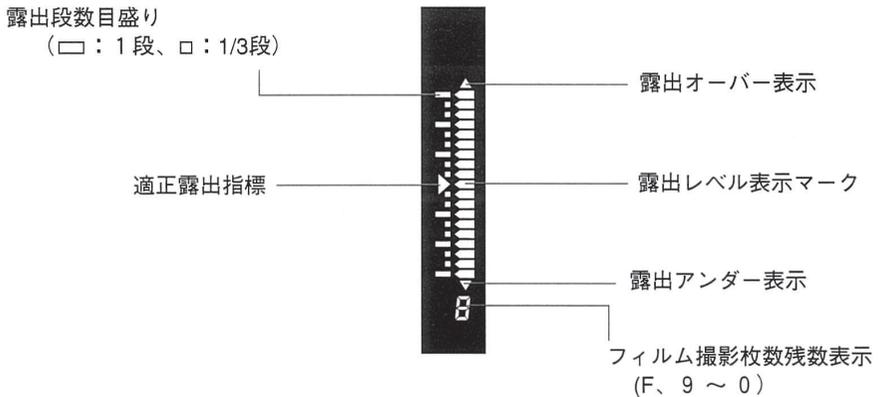
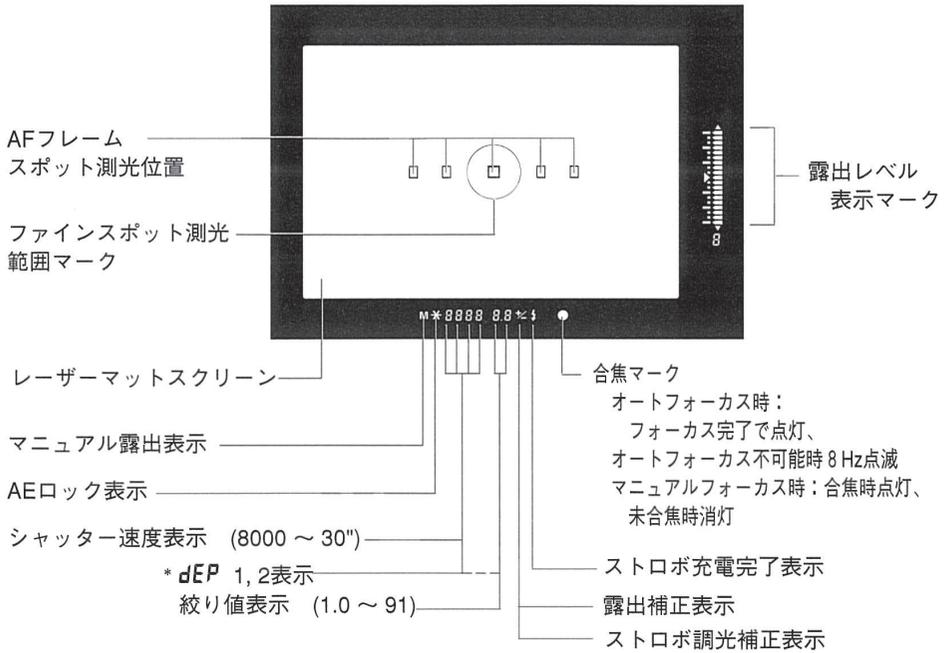


アイカップ  
(→20ページ)

## 各部の名称

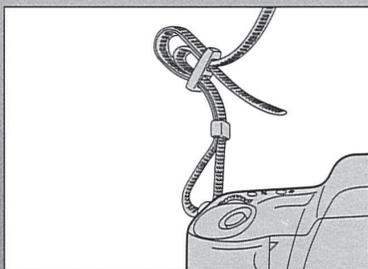


\*EOS-1 N RSにはありません



## [I] 撮影前の準備と簡単な撮影

この章では、撮影に入る前にあらかじめ準備しておくこと、知っておいていただきたいことについて説明しています。



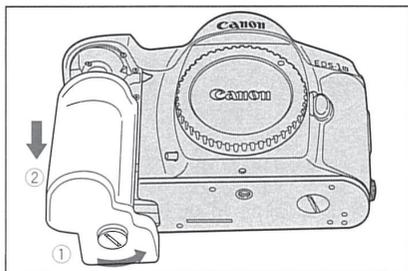
### ●ストラップ（吊りひも）の取り付け方

ストラップの先をストラップ通しの下から通し、さらにストラップについている止め具の内側を通します。ストラップを引っぱっても止め具の部分でゆるまないことを確認してください。

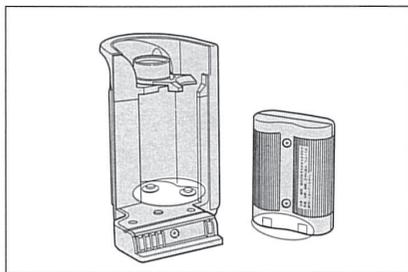
# 1. 電池のセット

グリップが電池室になっています。グリップを本体から外して電池を入れます。電池はリチウム電池 (2CR5) 1本を使用します。

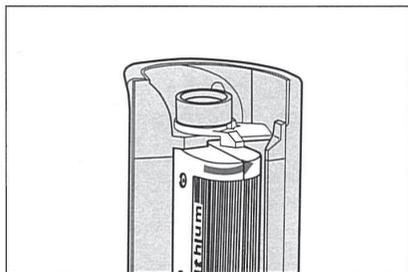
• EOS-1 N DPは95ページ、EOS-1 N HS、EOS-1 N RSは98ページを参照してください。



- 1 グリップ着脱ねじを硬貨などを利用して矢印の方向に回してゆるめます。
- 2 グリップを下にずらして本体から外します。



- 3 電池室の奥にある接点に電池の接点を合わせるようにして電池を入れます。

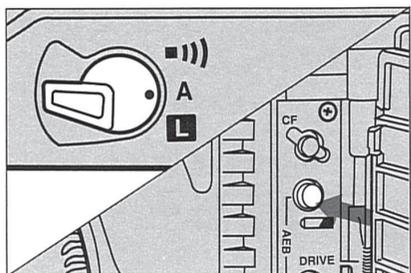


- 4 電池を図のように電池室に入れてから、矢印方向に押し込みます。
  - 電池を取り出すときは、電池取り出しレバーを操作して取り出します。
- 5 グリップを本体に取り付け、着脱ねじを回して完全に止めます。

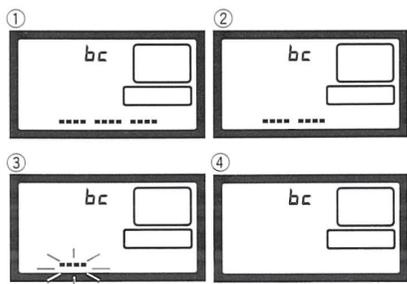


地域によっては電池の入手が困難なことがあります。旅行に出かけるときや、写真を撮るときは、予備の電池をご用意ください。

## 2. 電池容量の確認



- 1 メインスイッチを**A**にします。
- 2 側面カバーを開けて、バッテリーチェックボタンを押します。



- 3 表示パネルにバッテリーチェックマーク (----) が表示されます。表示の意味は次のとおりです。

- (図①) : 電池の容量は十分です。
  - (図②) : 新しい電池を用意してください。
  - (図③) : (点滅) まもなく電池切れになります。
  - (図④) : (表示なし) 新しい電池に交換してください。
- bc** (点滅) : 7ページを参照してください。

### リチウム電池 (2CR5) の寿命 (撮影可能本数)

温度	撮影本数
常温 (+20°C)	75 (50)
低温 (-20°C)	12 (8)

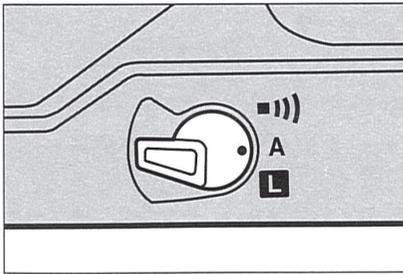
- テストは新品電池、EF50mm F1.4 USMレンズ、24枚撮りフィルムを使って、当社の試験条件で行っています。( ) 内は36枚撮りフィルムを使用したときの撮影本数です。
- フィルムを入れずに空撮したり、オートフォーカス操作をすると撮影本数が少なくなります。
- EOS-1 N DPの電池の撮影可能本数は97ページ、EOS-1 N HSの電池の撮影可能本数は99ページ、EOS-1 N RSの電池の撮影可能本数は104ページを参照してください。



- メインスイッチを**A**にしても、表示パネルに何も表示されない場合は電池が逆向きに入っていることが考えられます。正しい向きに入れ直してから電池容量を確認しなおしてください。
- シャッターが切れれば適正な露出で撮影できます。

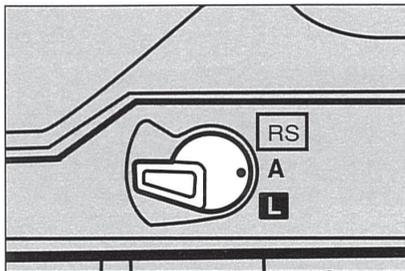
### 3. メインスイッチ

メインスイッチには次の3つの設定位置があります。



- L** : カメラは作動しません。カメラを使用しないときはメインスイッチをこの位置にしてください。携帯、保管中に物がシャッターボタンにあたってシャッターボタンが押され続け、電池が消耗してしまうのを防ぐことができます。
- A** : カメラの準備、操作をするときはこの位置に設定します。
- : Aと同じですが、ONE SHOTオートフォーカス及びマニュアルフォーカスでは被写体にピントが合うと「ピピッ」と電子音がなります。

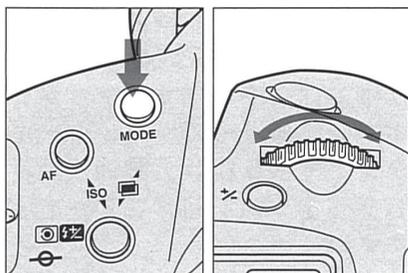
#### ●EOS-1 N RSの場合



- L** : カメラは作動しません。
- A** : カメラの準備、操作をするときはこの位置に設定します。
- RS** : Aと同じですが RS (Rapid Shot) モードになり、レリーズタイムラグ0.006秒、1秒間約10コマの高速連続撮影ができます。

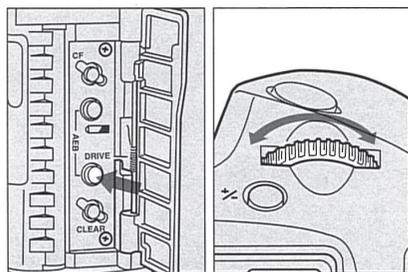
## 4. 基本機能の設定と変更方法

このカメラの撮影モード、AFモード、測光モードの設定および変更は次のようにして行います。



- 1 メインスイッチを**A**にします。
- 2 撮影モード選択ボタン（あるいはAFモード選択ボタン、測光モード選択ボタン）を押しながら、メイン電子ダイヤルを右または左に回して、表示パネル上で希望する機能表示を選択します。
- 3 撮影モード選択ボタン（あるいはAFモード選択ボタン、測光モード選択ボタン）から指を離します。

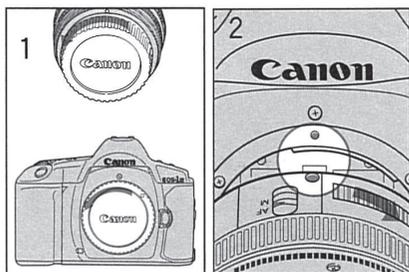
またフィルムの巻き上げモードの変更は、次のようにして行います。



- 1 メインスイッチを**A**にします。
- 2 側面カバーを開き、巻き上げモードセットボタンを押します。
- 3 メイン電子ダイヤルを右または左に回して、表示パネル上で希望する機能表示を選択します。
- 4 シャッターボタンを軽く押すか、6秒経過すると設定は完了します。

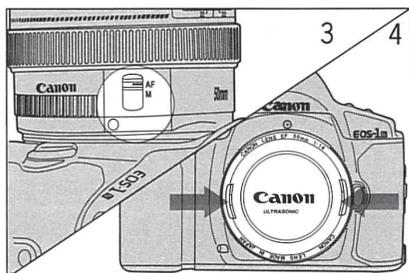
以上で機能の設定／変更は終了します。また、一度に二つのボタンを押してこれらの機能とは異なる内容を設定／変更することもあります。詳細はこの使用説明書の中で必要に応じて説明しています。

## 5. レンズの取り付け、取り外し



### ● レンズの取り付け

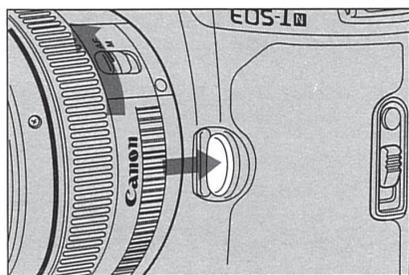
- 1 レンズのダストキャップとボディキャップを矢印の方向に回して外します。
- 2 レンズとカメラの赤いレンズ取り付け指標を合わせ、レンズを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで回します。



- 3 レンズのフォーカスモードスイッチを**AF**に合わせます。

- **M**になっているとオートフォーカス（自動ピント合わせ）できません。
- オートフォーカス作動中は、レンズの回転している部分に触れないでください。

- 4 レンズキャップを外します。



### ● レンズを取り外し

レンズ取り外しボタンを押しながら、レンズを矢印の方向に止まるまで回します。

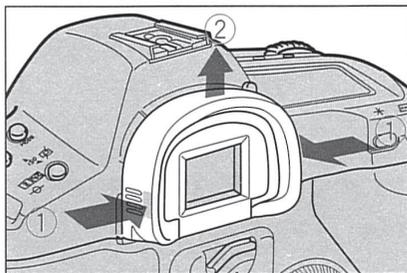


レンズを外したときは電気接点やレンズ面を傷付けないよう、取り付け面を上にして置いてください。

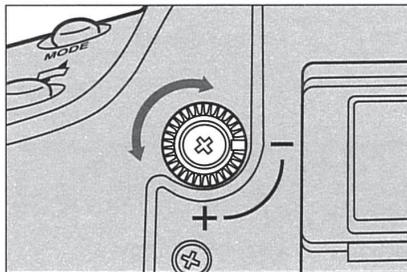


## 6. 鮮明なファインダーに調節する

ファインダー内を鮮明に見えるように調整することを視度調節といいます。視度調節することによってメガネを使用している方でもメガネをかけずにファインダー内をはっきり見ることができます。視度調節は、 $-3 \sim +1$  dptの範囲で設定できます。



- 1 アイカップの両脇（すべり止め部）を矢印の方向につまみます。
- 2 アイカップをつまんだまま、矢印の方向に引き上げて取り外します。



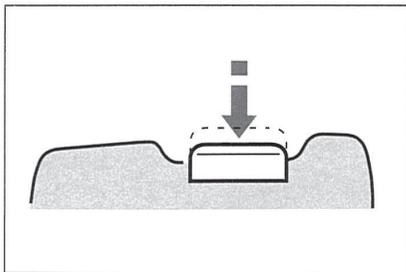
- 3 ファインダー内の5つのAFフレームまたはファインスポット測光範囲マークが最も鮮明に見えるように、視度調節ノブを右または左に回します。
  - ・ 図の位置が標準（補正なし／視度-1 dpt）の位置です。
- 4 アイカップをカメラに取り付けます。



視度調節してもファインダーが鮮明に見えない方は、別売の視度補正レンズのご利用をおすすめします。

## 7. シャッターボタンと自動ピント合わせ

シャッターボタンは二段階になっています。シャッターボタンを一段目まで押すことを「半押し」といいます。半押しからさらに二段目まで押すことを「全押し」といいます。シャッターボタンはそれぞれの位置で次のような働きをします。



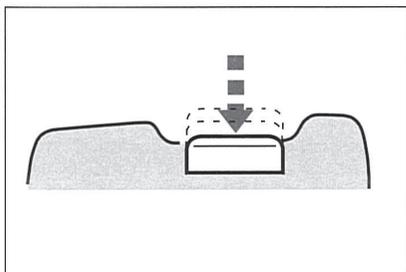
合焦マーク

### ●半押し

- 1) AF (Auto Focus : 自動ピント合わせ) 機構が働き、撮影の対象 (被写体) にピントが合うと被写体をとらえたAFフレームが一瞬赤く光り、ファインダー内に緑色の合焦マークが付きます。
  - AFフレームは5つあります。
  - AI SERVOオートフォーカスでAFフレーム自動選択時にはAFフレームは点灯しません。
  - AI SERVOオートフォーカス時は合焦マークはつきません。
- 2) 同時にシャッター速度と絞り値の組み合わせ (露出値) が決まり、表示パネルとファインダー内に表示されます。シャッターボタンから指を離してもタイマーの働きで露出値は6秒間表示されています。

## シャッターボタンと自動ピント合わせ

---



### ●全押し

シャッターが切れて撮影され、フィルムを巻き上げます。



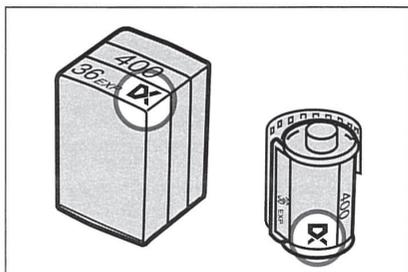
シャッターが切れる瞬間にカメラが動くことを「手ぶれ」といい、全体が不鮮明な写真になってしまいます。鮮明な写真を撮るために次の点にご注意ください。

- (1) カメラが動かないようにしっかり構えてください。
- (2) シャッターボタンを指の腹で静かに半押しの位置から全押しして撮影してください。

右手を静かににぎるように全押しするのが、キレイに撮るためのコツです。

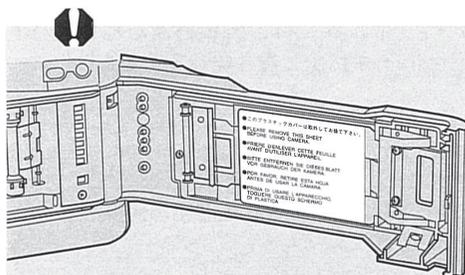
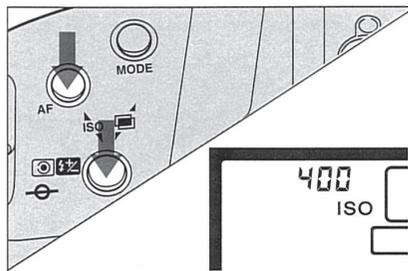
シャッターボタンの標準位置の高さを撮影者の好みに合わせて調整可能です。詳細は最寄りのキヤノンサービスセンターにご相談ください（有償）。

## 8. フィルムの入れ方、取り出し方



フィルムには図のようなDXコードがついており、フィルム感度は自動的にカメラに設定されます。

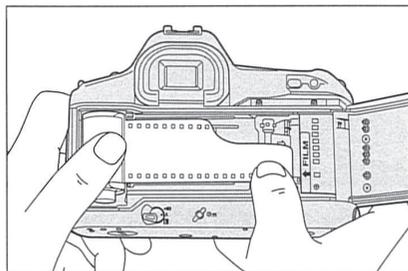
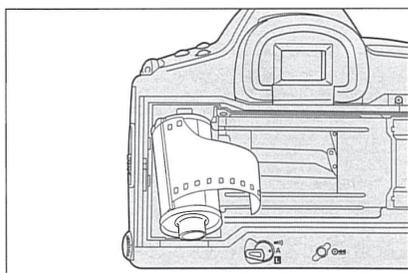
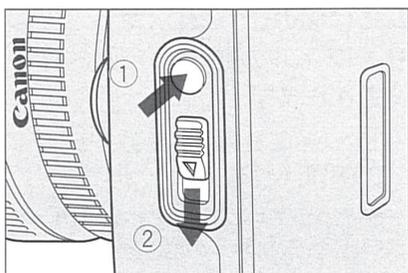
- DXコードによって自動的に設定されるフィルム感度の範囲は、ISO 25～5000です。
- DXコードがついていないフィルムをカメラに入れると、表示パネルのISOとセットされていたフィルム感度を示す数字が点滅します。67ページの「1. フィルム感度を手動で設定する」に従ってフィルム感度を設定してください。
- フィルムに記載されている感度とは異なる感度を設定する場合は、67ページの「1. フィルム感度を手動で設定する」をお読みください。
- カメラに設定されているフィルムの感度を確認するには、AFモード選択ボタンと測光モード選択ボタンを同時に押します。表示パネルにISOとそのときに設定されているフィルムの感度が表示されます。



背ぶたの内側にカメラ内部を保護するためのプラスチックカバーがついています。フィルムを入れる前に、このカバーを必ず外してください。

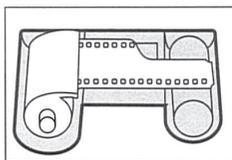
付いたまま使用すると、プラスチックカバーに印刷されている文字が写りこむことがあります。

## フィルムの入れ方、取り出し方

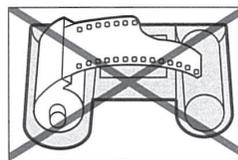


### ●フィルムの入れ方

- 1 メインスイッチを**A**にします。
- 2 背ぶたロック解除ボタンを親指の腹側で深く押し、そのまま背ぶた解放レバーを矢印の方向に押し下げて背ぶたを開きます。
  - 1本の指での操作が難しい方は、背ぶたロック解除ボタンと背ぶた解放レバーを別々の指で操作してください。
- 3 フィルム容器（パトローネ）を図のように少し斜めにして入れます。
- 4 フィルムの先端をカメラのオレンジマークに合わせます。
  - フィルムがたるまないよう、パトローネを押さえてください。



正しいセット



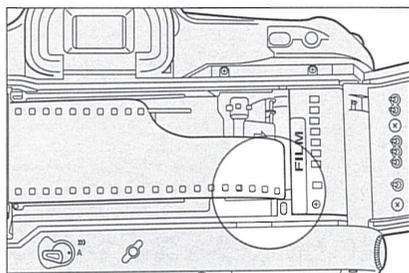
誤セット

- フィルムを引き出し過ぎたときはパトローネに少し巻き戻してください。

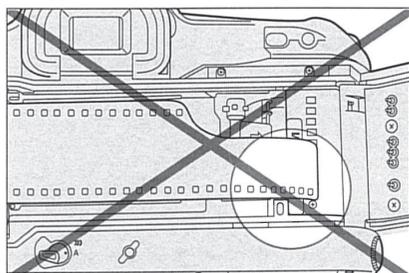


シャッター幕は非常に高い精度で加工されています。絶対に手を触れないでください。また、フィルムを入れる際に誤って指やフィルムでシャッター幕を破損・変形させないように十分ご注意ください。

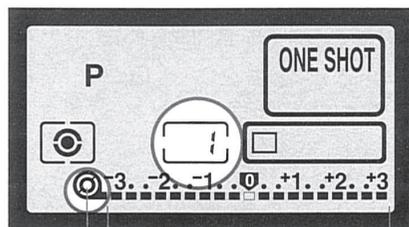
## フィルムの入れ方、取り出し方



正しいセット



誤セット



フィルム巻き上げ／巻き  
戻し作動表示

フィルム在否表示

- 5 フィルムの先端がオレンジマークに合っていること、フィルムの穴（パーフォレーション）がカメラの歯車（スプロケット）に合っていることを確認して背ぶたを「パチン」というまで閉じます。

- フィルムの先端がオレンジマークを越えないようにしてください。オレンジマークを越えていると、巻き上げられるときにフィルムが損傷したりカメラが故障する原因となることがあります。

- 6 背ぶたを閉じるとカメラは自動的にフィルムを巻き上げ、表示パネルにフィルム在否表示が、フィルムカウンター表示部にはフィルムの1コマ目を示す「1」が表示されます。

- フィルムが正しくセットされないとフィルム巻き上げ／巻き戻し作動表示が点滅し、シャッターが切れません。フィルムを正しく入れ直してください。

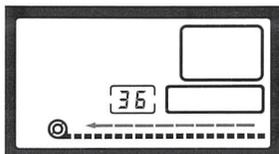


高い湿度のもとに置かれたフィルムを使用すると、パーフォレーションが途中で切れることがあります。湿度が高い場所では、フィルムはカメラに入れる直前に梱包から取り出してください。

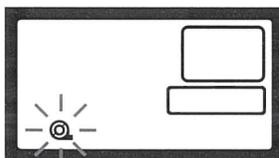
## カスタム機能について

### ●フィルムの取り出し方

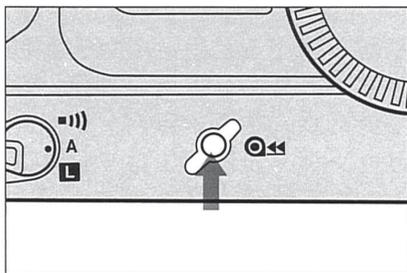
フィルムの最後のコマを撮影すると自動的にフィルムの巻き戻しが始まります。



- 1 巻き戻しが始まると、表示パネルにフィルム巻き戻し作動表示が右から左に動いて巻き戻し中であることを示します。同時にフィルムカウンター表示部の数字も一つずつ減っていきます。



- 2 巻き戻しが終了すると自動的に巻き戻しは停止します。表示パネルのフィルム巻き戻し終了表示 (☉) が点滅していることを確認後フィルムを取り出してください。



### ●フィルムを途中で取り出す (☉◀)

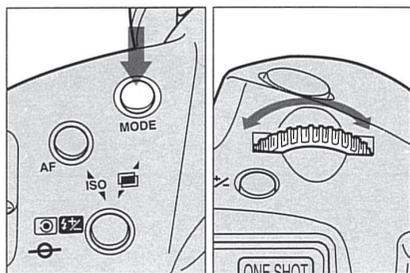
撮影の途中でフィルムを巻き戻すときは、途中巻き戻しボタン (☉◀) を押します。直ちに巻き戻しが始まります。

## 9. カスタム機能について

カメラの基本機能をさまざまな撮影スタイルに応じて細かく変更することができます。この機能をカスタム機能といいます。本文中ではカスタム機能 No.マークを付けてその機能がカスタム機能でさらに細かく変更することができることを示しています。カスタム機能の設定方法とその内容については、82ページ「[VI] カスタム機能」を参照してください。

# 10. プログラムAE撮影 [P]

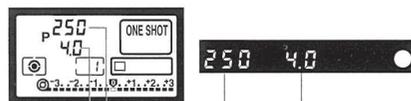
プログラムAEを利用して簡単な撮影をしてみましょう。プログラムAEは被写体の明るさに応じて撮影時のシャッター速度と絞り値の組み合わせ（露出値）をカメラが自動的に設定します。どなたにも気軽に撮影を楽しむことができます。搭載されている5点AFフレームを利用して、いろいろな被写体を自由な構図で撮ってみましょう。



- 1 メインスイッチを入れます。
- 2 撮影モード選択ボタンを押しながら、表示パネルに**P**が表示されるまでメイン電子ダイヤルを右または左に回します。
- 3 表示パネルの**P**を確認して撮影モード選択ボタンから指を離します。



AFフレーム  
合焦マーク



シャッタースピード  
絞り

- 4 ファインダーをのぞいて5つあるAFフレームのいずれかを被写体に合わせ、シャッターボタンを半押しします。
  - 被写体にピントが合うとピントが合ったAFフレームが一瞬赤く光ると同時にファインダー内に緑色の合焦マーク（●）が付きまます。
  - 合焦マーク（●）が点滅するときは、シャッターが切れません。37ページ「4. マニュアルフォーカス（手動ピント合せ）」を参照してください。
  - 表示パネルとファインダー内に露出値が表示されます。
- 5 露出値が点滅していないことを確認し、シャッターボタンを全押しして撮影します。

## プログラムAE撮影 [P]

### [露出警告]

- シャッター速度「30"」と絞り値が点滅するときは、被写体が暗すぎます。ストロボを使用して撮影してください。77ページ「[V] ストロボを利用しての撮影」を参照してください。
- シャッター速度「8000」と絞り値が点滅するときは、被写体が明るすぎます。レンズを通る光の量を減らすND (Neutral Density) フィルターを付けて撮影してください。



### ● 6秒タイマーについて

シャッターボタンを半押ししたあとで指を離しても、表示パネルとファインダー内の表示は約6秒間表示されます。

### ● プログラムシフトについて

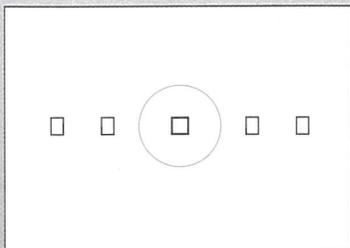
プログラムAE [P] は露出を変えずに、シャッター速度と絞り値の組み合わせ（プログラム）を変更することができます。これをプログラムシフトといいます。シャッターボタンを半押しした後、表示パネルあるいはファインダー内を見ながらメイン電子ダイヤルを回して、希望するシャッター速度あるいは絞り値に設定してください。

### ● フィルム撮影枚数残数表示について

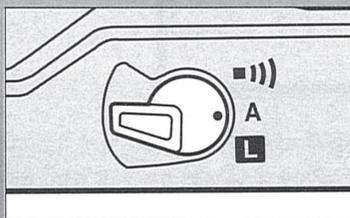
フィルムの残数が9コマ以下になると、ファインダー内でそのコマ数を確認することができます。測光レベル表示マークの下に表示されているFはフィルムの残数が10コマ以上あることを示しています。残りのコマ数が9コマ以下になると9、8……2、1とその数を数字で表示します。

- DXコードの付いていないフィルムを使用すると、すべて36枚撮りフィルムと識別してフィルム残数が表示されます。

## [II] AFモードと測光方式の変更



5点のAFフレームのうち、適切なAFフレームを自分で選択することにより、構図優先のAF撮影を行うことができます。また、被写体や撮影の状況に応じた測光（露出を測る）方式を選択したり、ファインダーを見たまま、微妙な露出補正をリアルタイムで行うことができます。

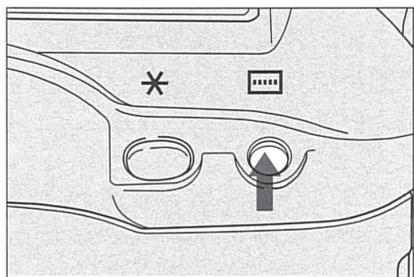


あらかじめメインスイッチを**A**に設定してからカメラの操作を行ってください。

# 1. 5点AFフレームについて

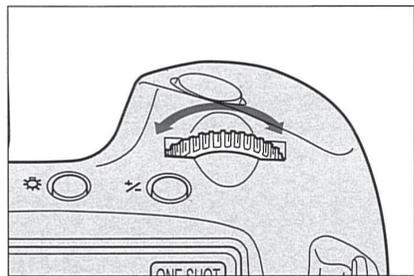
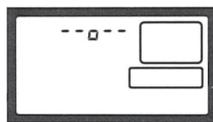
このカメラにはAFセンサーとして5つの測距点をもつ高精度マルチベジス (Multi-BASIS / Multi-Base-Stored Image Sensor) を搭載しています。ファインダー内に設けられた5点AFフレームはファインダー内の広い範囲でのオートフォーカスを可能にしています。

5つのAFフレームから任意の1つを選ぶことによって被写体とAFフレームの位置を気にすることなく自由な構図で撮影に専念することができます。被写体の位置に応じてカメラが最適なAFフレームを選択する、自動選択AFフレームに設定することもできます。



## ●AFフレームの選択

- 1 AFフレーム選択ボタン ( ) を押します。
- 2 現在選択されているAFフレームがファインダー内で赤く点灯し、表示パネルではAFフレームマークが点灯します。



- 3 メイン電子ダイヤルを右または左に回して希望するAFフレームを選択します。

## 5点AFフレームについて

- AFフレームは、自動選択（5つのAFフレームが点灯） ←→左←→左中←→中央←→右中←→右、の順で選択することができます。



- 選択されたAFフレームがファインダー内で赤く点灯し、表示パネルではAFフレームマークが点灯します。

4 シャッターボタンを半押しするか、6秒経過すると設定は完了します。

カスタム機能 **F10**  
90ページ参照

AFフレームが赤く光るのを禁止することができます。

カスタム機能 **F11**  
92ページ参照

AFフレーム選択ボタン (  ) の代わりに露出補正ボタンとメイン電子ダイヤルの組み合わせ、あるいはサブ電子ダイヤル操作で、AFフレームを選択することもできます。

## 5点AFフレームについて

### ●フォーカスロック撮影

5点のAFフレーム以外にある被写体にピントを合わせるときは次のようにします。これをフォーカスロック撮影といいます。

- フォーカスロック撮影はAFモードがONE SHOT（ワンショット）に設定されているときのみ有効です。33ページの「2. AFモードの切り換え」を参照してください。



- 1 選択したAFフレームを被写体に合わせ、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます。



- 2 シャッターボタンを半押ししたまま構図を変えます。
- 3 シャッターボタンを全押しして撮影します。



フォーカスロック撮影中にピントを合わせた被写体の明るさが変わると、その被写体が適正な露出にならないことがあります。測光方式については38ページの「5. 測光方式の変更方法」を参照してください。

カスタム機能 F-4

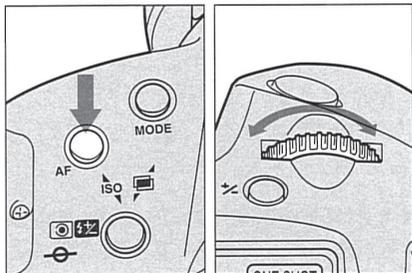
86ページ参照

AEロックボタン（\*）の代わりにシャッターボタンを半押ししてAEロックを行い、AEロックボタン（\*）でピントを合わせることもできます。

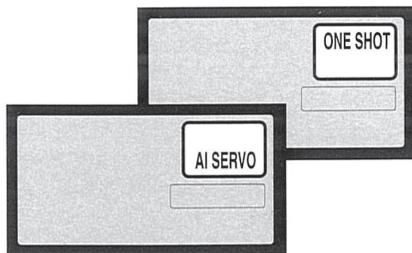
## 2. AFモードの切り換え

AFモードにはONE SHOTオートフォーカスとAI SERVOオートフォーカスの2種類があります。被写体の状況によって選択してください。

- AFモードで撮影するにはレンズのフォーカスモードスイッチがAFにセットされていなければなりません。

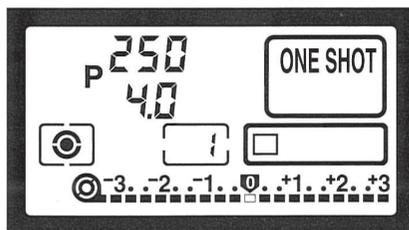


- 1 AFモード選択ボタンを押しながら、メイン電子ダイヤルを右または左に回し表示パネルに希望するAFモードを表示させます。



- 2 AFモード選択ボタンから指を離します。

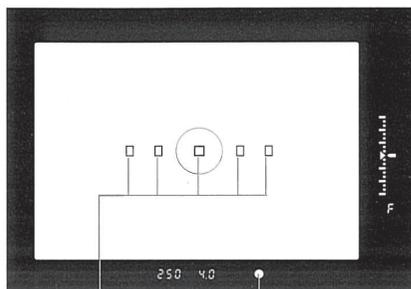
## AFモードの切り換え



### ●ONE SHOTオートフォーカス

静止している被写体の撮影に適しています。ピントが合わないとシャッターが切れないため、ピンボケ写真を防ぐことができます。シャッターボタンを半押しするとAFが作動し、ピントが合ったAFフレームが一瞬赤く光りファインダー内に合焦マーク（●）が点灯します。

- 評価測光では同時に露出値が決まります。また、シャッターボタン半押しの状態を保つとピントと露出値が固定（評価測光時）されたままになり、ピントを合わせたあとに構図を変えて撮影するフォーカスロック撮影ができます。

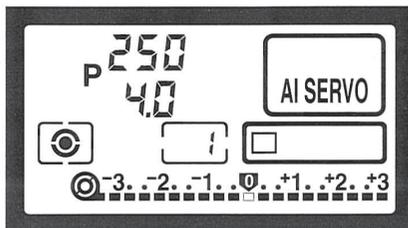


AFフレーム

合焦マーク



ファインダー内の合焦マークが点滅するときはシャッターが切れません。構図を変えて撮影するか、37ページの「4. マニュアルフォーカス（手動ピント合わせ）」を参照してください。



### ●AI SERVOオートフォーカス

撮影距離がたえず変わる（移動し続けている）被写体の撮影に適しています。シャッターボタン半押しの状態を保っている間、被写体にピントを合わせ続けます。動体予測機能\*でカメラに向かってくる、あるいは遠ざかる被写体にもピントが合います。露出はシャッターが切れる直前に決まります。



- ピントが合ってもファインダー内の合焦マークは点灯せず、電子音もなりません。
- ファインダー内の合焦マークが点滅するときはピントが合っていません。
- フォーカスロック撮影はできません。（カスタム機能 F. 4-2 設定時を除く）

### \*動体予測機能について

被写体がほぼ等速度でカメラに近づいてくる場合、あるいは遠ざかっていく場合に、シャッターが切れる直前に正しいピントが得られるよう、その被写体の位置を予測してピントを合わせ続ける機能です。

任意のAFフレームを選択しているとき、そのAFフレームで動体予測を行いAFフレームは赤く光ります。

AFフレーム自動選択のとき、初めに中央のAFフレームで被写体をとらえます。オートフォーカス中に被写体が中央のAFフレームを外れても、周囲のAFフレームが被写体を確実にとらえていれば動体予測を続けます。AFフレームは光りません。

#### カスタム機能 F-4

86ページ参照

AI SERVOオートフォーカス・動体予測機能によるスポーツ撮影などで、AEロックボタンでピントを一時固定することができます。

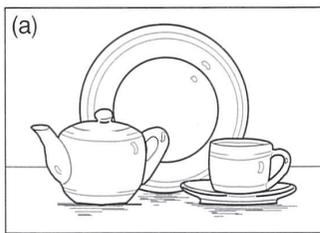
#### カスタム機能 F11

92ページ参照

AI SERVOオートフォーカス時に、選択されているAFフレームをサブ電子ダイヤルで変えながら被写体を追うことができます。

### 3. オートフォーカスが苦手な被写体

このカメラのAFシステムはほとんどの被写体にピントを合わせることができる非常に精度の高いものです。しかし、次のような特殊な被写体に対してはピント合わせができない（合焦マークが点滅する）ことがあります。



(a) コントラスト（明暗差）が極端に低い被写体

(b) 非常に暗い場所にある被写体

(c) 極端な逆光状態にあり、かつ光の反射が強い被写体

(d) 被写体が遠いところと近いところに共存する状態

(e) 縦線のない被写体（一番小さな絞り数値・開放がF 2.8以上のレンズを使用し中央のAFフレームでAFを行った場合のみ）



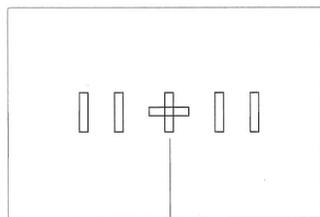
これらの場合は次のいずれかの方法でピントを合わせます。

(1) 特に(a)のような場合には被写体とほぼ同じ距離にあるものでフォーカスロックし、構図を決めなおして撮影する。

(2) (e)の場合、一番小さな絞り数値（開放）がF 2.8以下のレンズ（EF50mm F2.5コンパクト・マクロ、EF28 — 80mm F2.8 — 4Lを除く）はカメラのクロスセンサーが働いてピント合わせを行うが、一番小さな絞り数値（開放）がF 2.8以上のレンズはカメラを縦に構えてピント合わせを行い、構図を決めなおして撮影する。あるいは周辺のAFフレームでAFを行ないフォーカスロックする。

(3) フォーカスモードスイッチをM（マニュアル）にして手動でピント合わせを行う。

- 手動によるピント合わせは37ページの「4. マニュアルフォーカス（手動ピント合わせ）」を参照してください。

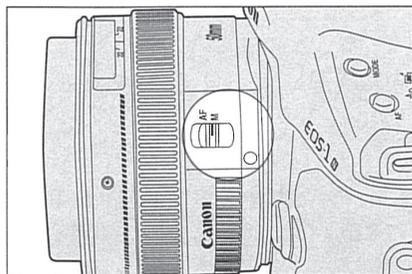


クロスセンサー

AFセンサーの配列

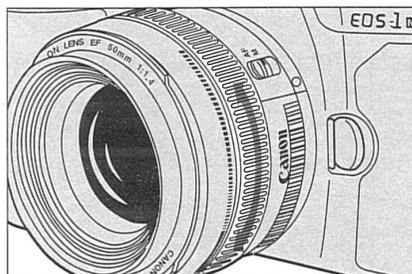
## 4. マニュアルフォーカス（手動ピント合わせ）

被写体にピントが合いにくいときや意図的にピントを合わせるときには次のようにして手動でピントを合わせます。



1 レンズのフォーカスモードスイッチを**M**に切り換えます。

- 表示パネルのAFモード表示が全て消えます。



2 シャッターボタンを半押ししながら、ファインダー内の被写体はっきり見えるまで、レンズの手動フォーカスリングを操作してピントを合わせます。

- オートフォーカスから**M**に切り換えたときは、被写体にピントが合うとAFフレームが光り、合焦マークが点灯します。

### ●USM（Ultrasonic Motor / 超音波モーター）レンズのフルタイムマニュアル

USMレンズは、オートフォーカスで合焦した後に手動フォーカスリングを操作してピントを修正することができる機構(フルタイムマニュアル)を搭載しています。これにより、意図通りのピントをす速く合わせることが可能です。ONE SHOTオートフォーカスでお使いください。

- 距離目盛窓のないUSMレンズの場合は、この方法でピント合わせを行うことはできません。

カスタム機能 **F-7**

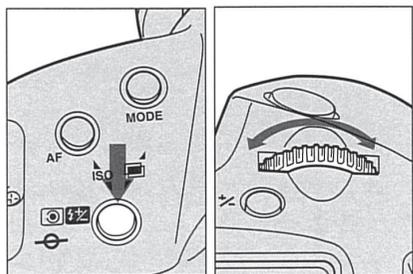
88ページ参照

USMレンズのうち、電子式の手動フォーカスリングを採用しているレンズ（EF200mm F1.8Lなど）では、レンズのフォーカスモードスイッチを**M**に切り換えなければ手動フォーカスリングが機能しないように変更することができます。

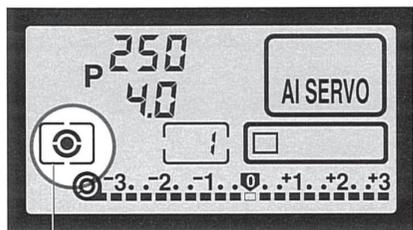
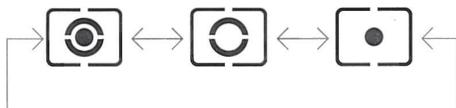
## 5. 測光方式の変更方法

測光方式には評価測光 $\odot$ 、部分測光 $\odot$ 、ファインスポット測光 $\bullet$ の3つの測光方式があります。カスタム機能で中央部重点平均測光やAFフレーム連動スポット測光を選択することもできます。各測光方式はシャッターボタンの半押しで作動して露出値を決めます。

屋外で、屋内で、海で、山で、光の状態は撮影状況によってさまざまです。撮影目的や撮影意図に合わせて選択してください。

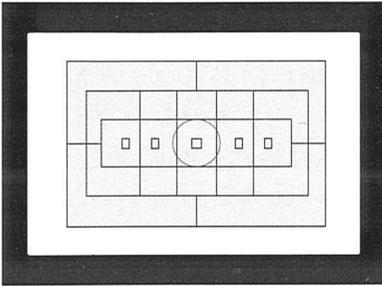


- 1 測光モード選択ボタンを押しながら、表示パネルに希望する測光方式が表示されるまでメイン電子ダイヤルを右または左に回します。



測光モード表示位置

- 2 測光モード選択ボタンから指を離します。



### ●評価測光 (E)

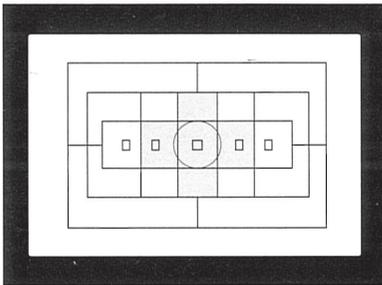
ファインダー内を16に分割して5点のAFフレームに連動した評価測光をします。ファインダー内に占める主被写体の大きさ、位置、明るさ、背景、順光、逆光など複雑な光の状況をカメラが判断し主被写体を常に適正な露出値にします。逆光撮影を含む一般の撮影に適しています。

マニュアルフォーカス時は常に中央のAFフレーム基準の評価測光になります。

- 主被写体が極端な逆光下にあったり強いスポットライトを浴びているような、主被写体と背景に極端な明暗差があるときは、部分測光 (P) あるいはファインスポット測光 (F) の利用をおすすめします。

カスタム機能 F-8  
90ページ参照

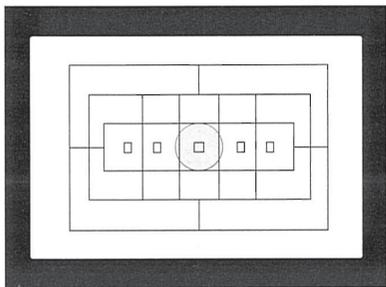
評価測光方式 (E) を中央部重点平均測光に変更することができます。



### ●部分測光 (P)

ファインダー中央部の約9%の範囲を測光します。逆光などで被写体の周辺に強い光がある場合の測光に有効です。

## 測光方式の変更方法



### ●ファインスポット測光方式 (◻)

ファインダー中央にあるファインスポット測光範囲マーク内のみ（ファインダーの約2.3%の範囲）を測光します。被写体の特定の部分を測光するときなどに有効です。

- 連続撮影 (◻ ◻L ◻H) のとき、1コマ目の露出値で固定され2コマ目以降が撮影されません。

### カスタム機能 F13

92ページ参照

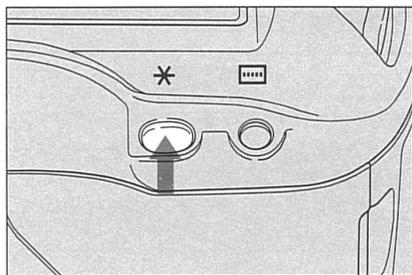
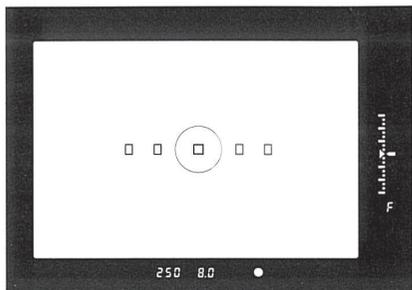
AFフレームに連動したスポット測光に変更することができます。任意に選択したAFフレームの周囲のみ（ファインダーの約3.5%の範囲）を測光します。



連写中は自動AEロックとなりますが、\* マークは点灯しません。

## 6. AEロック撮影

選択したAFフレームで露出とピントを別々に決めることができます。露出値を決めたあとで構図を変える必要がある撮影にご利用ください。これをAEロック撮影といいます。逆光下での撮影などに有効です。



1 露出を合わせたい被写体にピントを合わせます。

- 表示パネルおよびファインダーに露出値が表示されます。

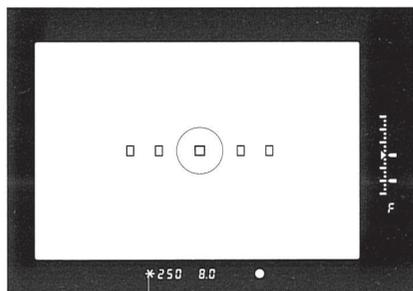
2 AEロックボタン（\*）を押します。

- ファインダー内にAEロック表示（\*）が表示され、表示されている露出値が固定（AEロック）されます。AEロックボタン（\*）から指を離してもタイマーの働きで露出値は6秒間表示されています。
- AEロックボタン（\*）を押し直す度に、そのときの露出値をAEロックします。
- AEロック表示（\*）が表示されてから6秒間経過するか、AFモード選択ボタン、測光モード選択ボタン、撮影モード選択ボタンのいずれかを押しすと、AEロックは解除されます。



一点に的確にAEロックを行なう場合は部分測光／スポット測光の使用をおすすめします。ファインダー中央部でAEロック操作をしてください。

## AEロック撮影



AEロック表示

3 目的の被写体にピントを合わせて構図を決めなおし、撮影します。

- 構図を変えると、測光レベル表示マーク上にAEロックした露出値と新しい露出値との差がリアルタイムで表示されます。



AEロック露出値

現状露出値

カスタム機能 F-4

86ページ参照

AEロックボタン（\*）の代わりにシャッターボタンを半押ししてAEロックを行い、AEロックボタン（\*）でピントを合わせることもできます。



ONE SHOTオートフォーカスと評価測光の組み合わせの場合、シャッターボタンを半押ししてピントが合った時点で自動的にAEロックされます。

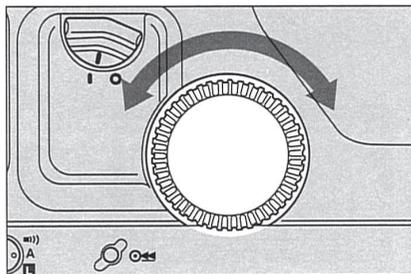
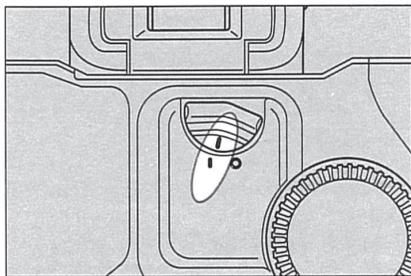
## 7. 露出の補正方法

撮影時の露出値を意図的に変えることを露出補正といいます。ファインダーをのぞいたままサブ電子ダイアルで行う方法と露出補正ボタンで行う方法があります。一度設定された補正量の変更／解除はどちらの方法でも行うことができます。露出補正量は1/3段ステップで+3段から-3段の範囲です。

カスタム機能 **F-6**

88ページ参照

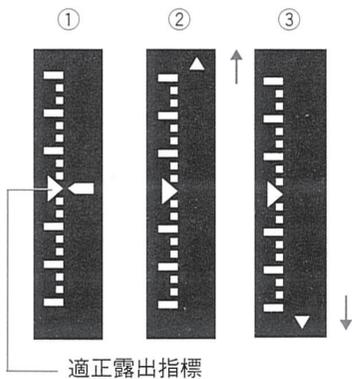
露出補正量を1/2段ステップに変更することができます。



### ●サブ電子ダイアルによる補正

- 1 サブスイッチをⅠに設定します。
- 2 被写体にピントを合わせ露出の表示を確認します。
- 3 サブ電子ダイアルを回して希望する補正量を設定します。
  - サブ電子ダイアルの操作はシャッターボタン半押し中か、シャッターボタン半押し後の6秒タイマー作動中のみ有効です。

## 露出の補正方法



- ① 適正露出表示
- ② 3 段以上オーバー露出表示
- ③ 3 段以上アンダー露出表示

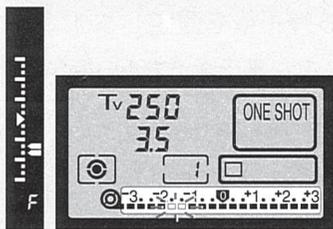
- ファインダー内に露出レベル表示マーク (◁)・表示パネルの露出補正表示に補正量が表示されます。
- それぞれの表示上で、上側と十側は露出オーバーを、下側と一側は露出アンダーを示します。
- 補正量を設定したあとサブスイッチを **●** にすると、サブ電子ダイヤルが不用意に動いて補正量が狂うのを防ぎます。
- 露出補正を解除するときは補正量を適正露出指標 (▷) の位置に戻します。

## 4 撮影します。

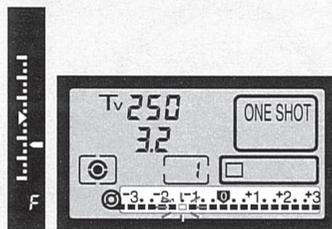
- 設定した補正量はメインスイッチを **■** にしても解除されません。



カスタム機能 No. F-6 で露出補正量を1/2段ステップで設定した場合及び1/3段ステップで設定した場合、ファインダー内の測光レベル表示マークと表示パネルの露出補正表示の補正量表示は図のようになります。



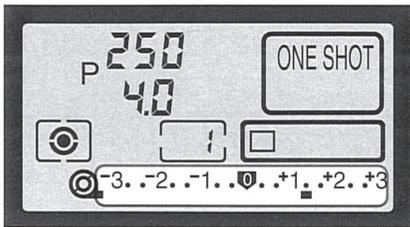
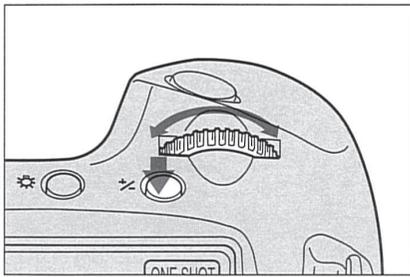
1 1/2段アンダーの例



1 1/3段アンダーの例

### ●露出補正ボタンによる補正

露出補正ボタン（☰）とメイン電子ダイヤルを使用しても露出補正することができます。



- 1 被写体にピントを合わせ露出の表示を確認します。
- 2 露出補正ボタンを押し（6秒タイマー作動中）、にメイン電子ダイヤルを回して希望する補正量を設定します。
- 3 撮影します。

- 設定した補正量はメインスイッチを  にしても解除されません。



- 不用意にサブ電子ダイヤルが動いて補正値が変わらないようご注意ください。サブスイッチを  にすると安全です。
- 別売のコマンドバックE1にはサブ電子ダイヤルがありません。背ぶたをコマンドバックE1に交換したときは、露出補正ボタンを押しメイン電子ダイヤルを回して露出補正します。

## 8. AEB撮影

設定した露出補正量の幅に従って、カメラが自動的に露出を変えながら3コマの写真を撮影することができます。これをAEB (Auto Exposure Bracketing) 撮影といいます。適正露出値（露出補正が設定してあればその補正值）を中心に、1/3段ステップで+3段から-3段の範囲でAEB撮影の補正量を設定することができます。設定してあるフィルム巻き上げモード（68ページの「2. フィルム巻き上げモードを変更する」を参照）で露出アンダー、適正露出、露出オーバーの順で撮影します。

微妙な光線状態を表現したり、スライド用カラーフィルム（リバーサルフィルム）を使用した撮影には特に有効です。



露出アンダー (-1/3)

露出適正 (0)

露出オーバー (+1/3)

### カスタム機能 F-6

88ページ参照

露出補正量を1/2段ステップに変更することができます。

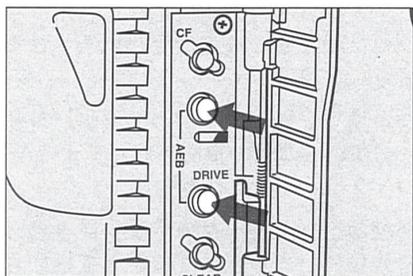
### カスタム機能 F-9

90ページ参照

撮影順を適正露出、露出アンダー、露出オーバーに変更することができます。またAEB撮影の設定を、AFモード選択ボタンと撮影モード選択ボタンを押しながら、メイン電子ダイヤルを操作して行うように変更することができます。

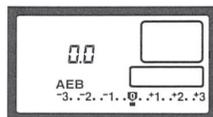


カスタム機能 No. F-12 でミラーアップを設定した状態でAEB撮影する場合、フィルム巻き上げモード（1枚撮り・連続撮影）にかかわらず1枚撮りになります。

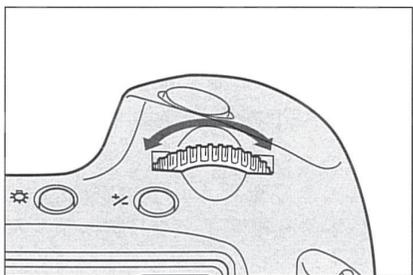


- 1 側面カバーを開け、バッテリーチェックボタンとフィルム巻き上げモードセットボタンを同時に押します。

- 表示パネルにAEBが表示されます。

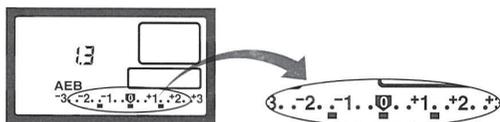


- 表示はタイマーの働きでボタンから指を離しても6秒間表示されています。



- 2 表示パネルを見ながらメイン電子ダイヤルを回して露出補正量を設定します。

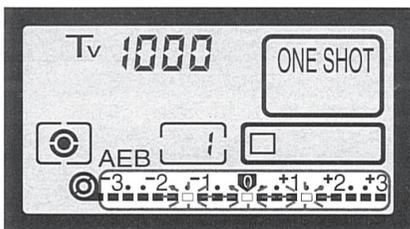
- 表示パネルには数値とAEBセットレベルの点によって設定補正量が表示されます。図は適正露出を中心に $\pm 1\frac{1}{3}$ 段補正したときの表示パネルです。



- 3 シャッターボタンを半押しして指を離すと、補正量がファインダー内の測光レベル表示マークに表示されます。

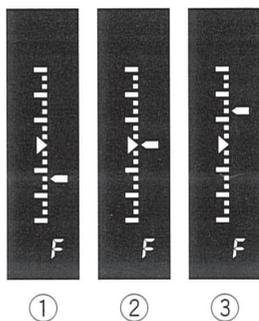
- 4 設定してあるフィルム巻き上げモードに従って撮影します。

- 表示パネルの露出値は撮影順に補正された値を表示し、3コマの撮影が終わるまでAEBが点滅します。



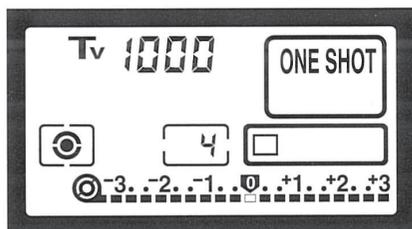
1/3段補正表示の例

## AEB撮影



① ② ③  
ファインダー内における  
AEB露出確認

- ファインダー内の測光レベル表示マークには撮影順に補正位置が表示されません。
- 連続撮影でも1コマずつの撮影が可能なので、3コマの撮影が終わるまでAERロック表示（\*）が点滅します。
- 連続撮影でシャッターボタンを全押しし続けていると3コマ連続して撮影されますが、ファインダー内の測光レベル表示マークは表示されません。また巻き上げは3コマで停止します。
- セルフタイマーを併用したときは、2秒または10秒後に、自動的に3コマ連続撮影されます。



### 5 ステップ1と2の操作で露出補正量を0にしてAEB撮影を解除します。

- レンズの交換、フィルムの巻き戻し、フィルムの交換、バルブ撮影の設定、ストロボの充電完了、クリアボタン押し、メインスイッチ  でも解除されません。

### カスタム機能 F-9

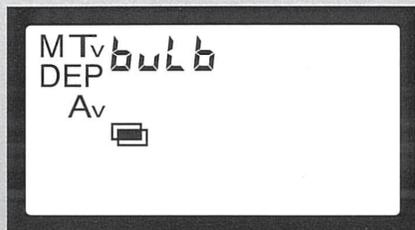
90ページ参照

AEB撮影をレンズの交換、フィルムの巻き戻し、フィルムの装てん、メインスイッチ  で解除しないことができます。

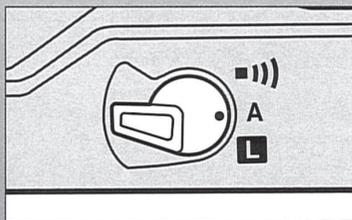


- AEB撮影で露出補正幅を設定したあと、43ページの「7. 露出の補正方法」を併用してアンダー側あるいはオーバー側でのAEB撮影を行うことができます。適正露出値を補正してもAEB撮影によって設定した露出補正幅は変わりません。
- ストロボ撮影およびバルブ撮影とAEB撮影との併用はできません。
- EOS -1 N RSのRSモードでAEB設定はできません。

## [III] 撮影目的に合わせた設定



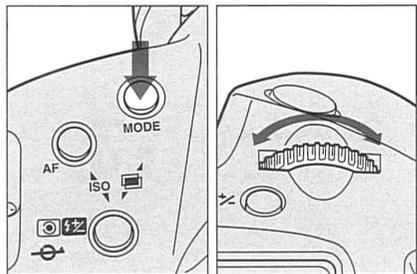
簡単な操作で被写体や撮影目的に合わせた、最適な撮影モードを設定することができます。



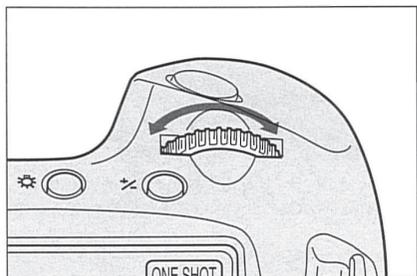
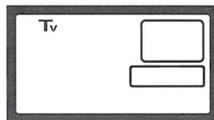
あらかじめメインスイッチを**A**に設定してからカメラの操作を行ってください。

# 1. シャッター優先AE撮影 [Tv]

シャッター速度を設定すると、被写体の明るさに応じてカメラが適正露出に必要な絞り値を自動的に設定します。これをシャッター優先AEといいます。

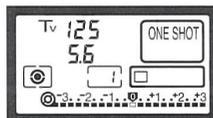


- 1 撮影モード選択ボタンを押しながら、表示パネルに**Tv**が表示されるまでメイン電子ダイヤルを右または左に回します。



- 2 撮影モード選択ボタンから指を離します。
- 3 表示パネルあるいはファインダー内表示を見ながら、メイン電子ダイヤルを回して希望するシャッター速度を設定します。
- 4 シャッターボタンを半押しして被写体にピントを合わせます。

- 表示パネルとファインダー内にシャッター速度と絞り値が表示されます。



- 5 絞り数値を確認して撮影します。
  - 絞り数値が点滅していなければ適正露出です。

### [露出警告]

- 使用レンズの一番小さな絞り数値（最大口径絞り）が点滅するときは、露出アンダー（露出不足）です。絞り値の点滅が止まるまでメイン電子ダイヤルを回してシャッター速度を遅くしてください。



- 使用レンズの一番大きな絞り数値（最小口径絞り）が点滅するときは、露出オーバー（露出過度）です。絞り値の点滅が止まるまでメイン電子ダイヤルを回してシャッター速度を速くしてください。



## シャッター優先AE撮影 [Tv]



### シャッター速度の表示

シャッター速度は1/3段おきに変わります。8000から4までは分数の分母を表していません。例えば125は1/125秒を表しています。また0"3は0.3秒を15"は15秒を表しています。

8000 6400 5000 4000 3200 2500 2000 1600 1250 1000 800 640  
500 400 320 250 200 160 125 100 80 60 50 40 30 25 20 15  
13 10 8 6 5 4 0"3 0"4 0"5 0"6 0"8 1" 1"3 1"6 2" 2"5 3"2 4"  
5" 6" 8" 10" 13" 15" 20" 25" 30"

### カスタム機能 F-6

88ページ参照

1/3段ステップのシャッター速度の設定を1段または1/2段ステップに変更することができます。その場合のシャッター速度の表示は次のようになります。

- 1段ステップ表示

8000 4000 2000 1000 500 250 125 60 30 15  
8 4 0"5 1" 2" 4" 8" 15" 30"

- 1/2段ステップ表示

8000 6000 4000 3000 2000 1500 1000 750 500  
350 250 180 125 90 60 45 30 20 15 10 8 6  
4 0"3 0"5 0"7 1" 1"5 2" 3" 4" 6" 8" 10" 15"  
20" 30"



速いシャッター速度による撮影

1/1000秒・F5.6 (EF200mm F2.8L使用)

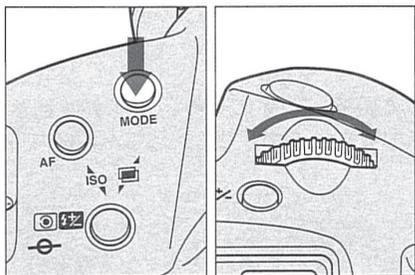


遅いシャッター速度による撮影

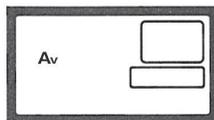
1/60秒・F22 (EF200mm F2.8L使用)

## 2. 絞り優先AE撮影 [Av]

絞り数値を設定すると、被写体の明るさに応じてカメラが適正露出に必要なシャッター速度を自動的に設定します。これを絞り優先AEといいます。

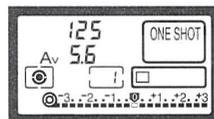
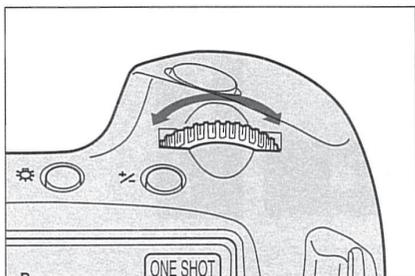


- 1 撮影モード選択ボタンを押しながら、表示パネルに**Av**が表示されるまでメイン電子ダイヤルを右または左に回します。



- 2 撮影モード選択ボタンから指を離します。
- 3 表示パネルあるいはファインダー内表示を見ながら、メイン電子ダイヤルを回して希望する絞り数値を設定します。
- 4 シャッターボタンを半押しして被写体にピントを合わせます。

- 表示パネルとファインダー内にシャッター速度と絞り数値が表示されます。



## 絞り優先AE撮影 [Av]

- 5 シャッター速度を確認して撮影します。
- シャッター速度が点滅していなければ適正露出です。
  - シャッター速度が（1 / 使用レンズの焦点距離）以下になると手ぶれが起きやすくなりますのでご注意ください。

### [露出警告]

- シャッター速度の「30"」が点滅するときは、露出アンダーです。シャッター速度の点滅が止まるまでメイン電子ダイヤルを回して絞りを開いて（絞り数値を小さく）ください。



- シャッター速度の「8000」が点滅するときは、露出オーバーです。シャッター速度の点滅が止まるまでメイン電子ダイヤルを回して絞りを閉じて（絞り数値を大きく）ください。





## 絞り数値の表示

絞り数値は1/3段おきに変わります。数字が大きくなるほどレンズの絞り径は小さくなります。表示される絞り値の範囲はレンズによって異なります。

1.0 1.1 1.2 1.4 1.6 1.8 2.0 2.2 2.5 2.8 3.2 3.5 4.0 4.5 5.0 5.6  
6.3 7.1 8.0 9.0 10 11 13 14 16 18 20 22 25 29 32 36 40 45  
51 57 64 72 81 91

### カスタム機能 F-5

88ページ参照

1/3段ステップの絞り数値の設定を1段または1/2段ステップに変更することができます。

- 1段ステップ表示

1.0 1.4 2.0 2.8 4.0 5.6 8.0 11 16 22 32 45  
64 91

- 1/2段ステップ表示

1.0 1.2 1.4 1.8 2.0 2.5 2.8 3.5 4.0 4.5 5.6 6.7  
8.0 9.5 11 13 16 19 22 27 32 38 45 54 64  
76 91



小さな絞り数値による撮影

1/1000秒・F2.0 (EF50mm F1.4使用)



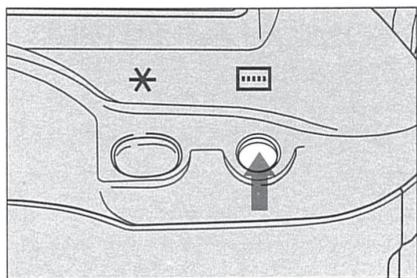
大きな絞り数値による撮影

1/60秒・F16 (EF50mm F1.4使用)

### 3. 深度優先AE撮影 [DEP]

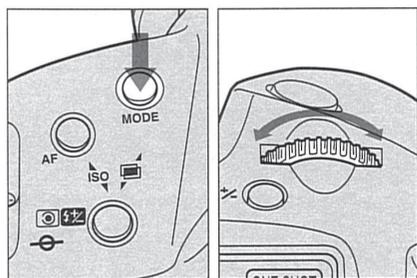
たくさんの人で記念写真を撮ったり風景写真を撮るときなどに、鮮明に写したい範囲を指定して写すことができます。近景から遠景までを鮮明に写すために最適なピント位置とそのために必要な絞り値、それに応じたシャッター速度をカメラが自動的に設定します。これを深度優先AEといいます。任意のAFフレームを選択して行う方法と、AFフレーム自動選択で行う方法があります。

- レンズのフォーカスモードスイッチが**M**に設定されていると深度優先AE撮影ができません。フォーカスモードスイッチを**AF**に設定してください。

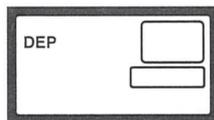


#### ● 選択したAFフレームによる深度優先AE撮影

- 1 AFフレームを選択します。



- 2 撮影モード選択ボタンを押しながら、表示パネルに**DEP**が表示されるまでメイン電子ダイヤルを右または左に回します。



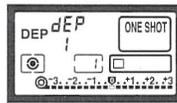
- 3 撮影モード選択ボタンから指を離します。

## 深度優先AE撮影 [DEP]



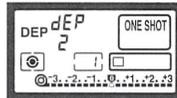
- 4 選択したAFフレームを被写体の1点目(1)に合わせ、シャッターボタンを押します。

- ファインダー内に合焦マークが点灯し、ファインダー内と表示パネルに **dEP 1** と表示されます。



- 5 同じAFフレームを被写体の2点目(2)に合わせ、シャッターボタンを押します。

- ファインダー内に合焦マークが点灯し、ファインダー内と表示パネルに **dEP 2** と表示されます。

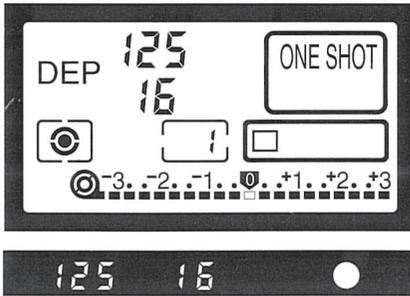


- 2点目、1点目の順に操作しても同じ効果が得られます。



- EOS-1 N RS は、深度優先AE撮影 [DEP] 機能を搭載していません。

## 深度優先AE撮影 [DEP]



6 構図を決めシャッターボタンを半押しして、シャッター速度と絞り値を確認します。

- 1点目から2点目までの中間距離にピントが設定されます。鮮明に写すために必要な絞り値と、それに対応したシャッター速度が決定され、ファインダー内と表示パネルに表示されます。
- シャッターボタンから指を離すと表示は **dEP** と絞り値に変わります。
- 露出はシャッターが切れる直前に決まります。



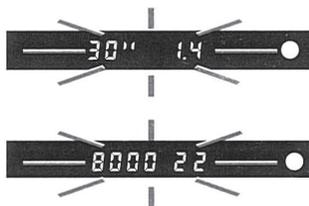
7 さらにシャッターボタンを全押しして撮影します。

### ●自動選択AFフレームによる深度優先AE撮影

自動選択AFフレームによる深度優先AE撮影では、中央のAFフレームのみによるピント合わせになります。それ以外の基本的な操作手順や注意事項は「選択したAFフレームによる深度優先AE撮影」と同じです。

### [警告表示]

- 絞り数値が点滅する場合は希望する効果が得られません。(ただしこのまま撮影しても適正露出で撮影されます。) 広角レンズを使用するか、被写体から離れて再度手順「4」～「6」の操作をしてください。
- シャッター速度の「30"」と使用レンズの一番小さな絞り数値（最大口径絞り）が点滅するときは、露出アンダーで深度優先AE撮影できません。
- シャッター速度の「8000」と使用レンズの一番大きな絞り数値（最小口径絞り）が点滅するときは、露出オーバーです。レンズを通る光の量を減らすNDフィルターを付けて撮影してください。



- ズームレンズを使用しているときは、撮影が終わるまでズーム操作をしないでください。
- DEP操作中に測距点の変更を行うと、一度設定したデータがキャンセルされます。
- 深度優先AE撮影とストロボ撮影は併用できません。併用した場合はプログラムAE撮影でのストロボ使用と同じになります。
- ピント合わせ範囲を設定できるレンズ (EF 300mm F2.8 Lなど) を使用して深度優先AE撮影するときは、レンズのゾーン切り換えスイッチを「至近～∞」に設定してください。



- シャッター速度が遅くなったときは手ぶれ防止のため三脚をご使用ください。
- 深度優先AE撮影を途中で解除するときは、撮影モード選択ボタンまたはAFモード選択ボタン、測光モード選択ボタンのいずれかを押します。

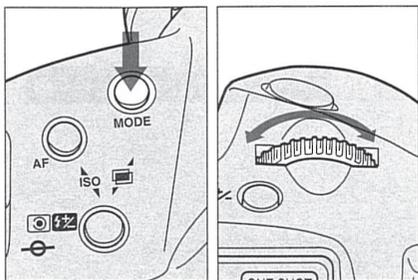


- 被写界深度を深くしたいときは、広角レンズをお使いになることをおすすめします。
- 1点目と2点目のピント合わせを被写体の同じ部分で行うとピントが合う範囲は浅くなります。人物撮影などで、この方法を応用すると人物の前景および背景をぼかした写真を撮ることができます。望遠レンズを使用するといっそう効果的です。

## 4. マニュアル露出撮影 [M]

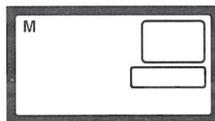
シャッター速度と絞り値を任意に決めて撮影するときに設定します。ファインダー内の測光レベルマークを参考にしたり、単独の露出計を併用してシャッター速度や絞り値を決めるときに設定します。これをマニュアル露出撮影といいます。

電子ダイヤルでシャッター速度を、サブ電子ダイヤルで絞り値を設定します。



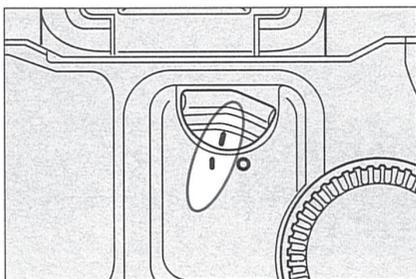
### ●内蔵の露出計を利用する

- 1 撮影モード選択ボタンを押しながら、表示パネルに**M**が表示されるまでメイン電子ダイヤルを右または左に回します。



- 2 撮影モード選択ボタンから指を離します。
- 3 サブスイッチを **I** に設定します。
- 4 表示パネルを見ながらメイン電子ダイヤルでシャッター速度を、サブ電子ダイヤルで絞り値を設定します。

- 別売のコマンドバックE1にはサブ電子ダイヤルがありません。背ぶたをコマンドバックE1に交換したときは、露出補正ボタンを押してメイン電子ダイヤルを回し、絞り値を設定します。



## マニュアル露出撮影 [M]



◁ 表示が、露出1段オーバーを表しています。

- 5 ファインダーをのぞきながらシャッターボタンを半押しします。ファインダー内に**M**と露出値が表示されます。**M**表示はマニュアル露出撮影であることを示しています。ファインダー内右側の測光レベル表示マークでカメラが算出した適正露出からどのくらいずれているか確認することができます。
- 6 測光レベル表示マークを確認し任意のシャッター速度、絞り値を設定して撮影します。

### カスタム機能 F-5

88ページ参照

メイン電子ダイヤルとサブ電子ダイヤルの機能を入れ換えることができます。

### カスタム機能 F-6

88ページ参照

1/3段ステップのシャッター速度および絞り値の設定を、1段または1/2段ステップに変更することができます。

### カスタム機能 F-11

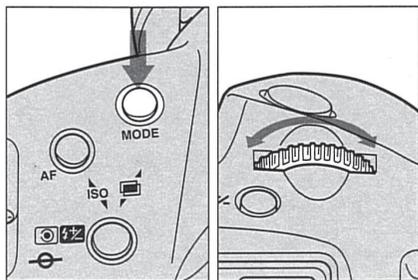
92ページ参照

絞り値をAFフレーム選択ボタン (  ) とメイン電子ダイヤルで設定することもできます。

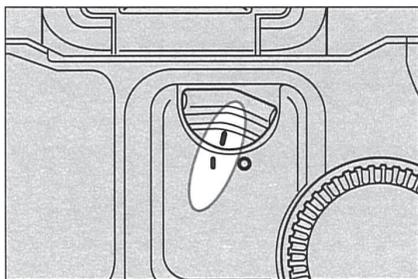
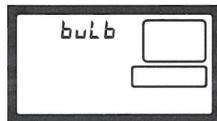
- 手順「4」の操作方法はカスタム機能5と11の組み合わせにより、6通りの異なった方法に変更することができます。

## 5. バルブ撮影 [buLb]

シャッターボタンを押している間、シャッターは開いたままになり、シャッターボタンから指を離すとシャッターは閉じます。これをバルブ撮影といいます。シャッターボタンを押し続ける機能がついているリモートスイッチ60T3（別売）をカメラのリモコン端子に接続して使用すれば、シャッターボタンを押し続ける必要はありません。夜景や花火、天体の撮影など長時間の露出が必要なときに設定します。



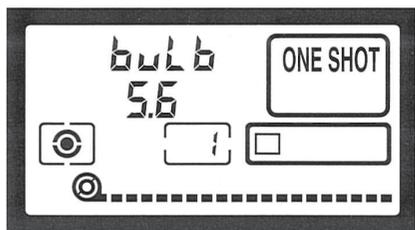
- 1 撮影モード選択ボタンを押し、表示パネルに **buLb** が表示されるまでメイン電子ダイヤルを右または左に回します。



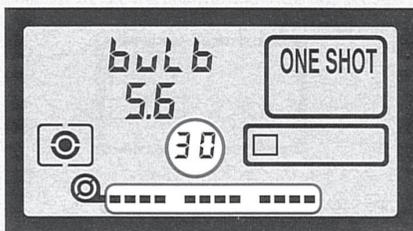
- 2 撮影モード選択ボタンから指を離します。
- 3 サブスイッチを **I** に設定します。

## バルブ撮影 [buLb]

- 4 表示パネルを見ながらメイン電子ダイヤルまたはサブ電子ダイヤルで絞り数値を設定します。
- 5 シャッターボタンを全押しして撮影します。シャッターボタンは押し続けてください。



- 表示パネルのフィルムカウンター表示部が、シャッターを切ったからの経過時間表示に変わります。30秒経過するごとにバッテリーチェックバーが1本（■■■■）ずつ表示され、3本表示と経過時間表示30で120秒間を計ることができます。



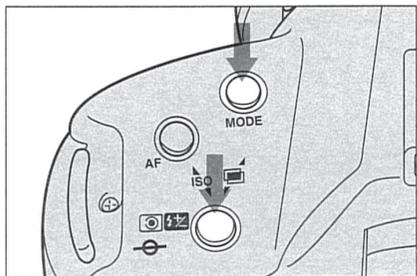
120秒の表示例

- バルブ撮影は、電池をほとんど消耗しない省電設計になっています。
- バルブ撮影中は表示パネルの照明は消えます。

## 6. 多重露出撮影 [ ]

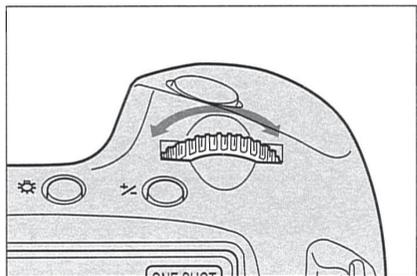
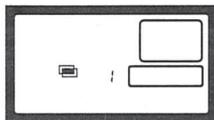


撮影後フィルムを次のコマに送らず、同じコマで複数回撮影することを多重露出撮影といいます。1度の操作で9回までの多重露出撮影回数を設定することができます。多重露出撮影はどの撮影モードとも併用することができます。



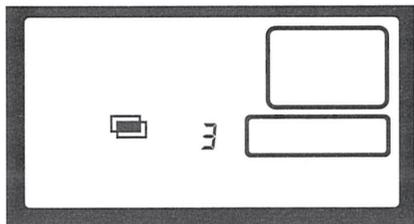
- 1 撮影モード選択ボタンと測光モード選択／調光補正ボタンを同時に押しつづけます。

- 表示パネルに [ ] が表示され、同時にフィルムカウンター表示が ! と変わります。このフィルム表示カウンターの数値が多重露出回数を表します。



- 2 表示パネルを見ながらメイン電子ダイヤルを右に回して希望する多重露出回数を選択します。

- 解除するときには左に回します。



3回の多重露出の場合

- 3 撮影モード選択ボタンと測光モード選択／調光補正ボタンから指を離し、多重露出回数を設定します。
- 4 撮影モードを選択して撮影します。
- 5 設定した多重露出撮影回数の撮影が終了すると、フィルムは自動的に次のコマに巻き上げられます。



多重露出撮影をフィルムの最初と最後の数コマで行うと、フィルムの巻きぐせにより被写体の重なり具合が微妙にずれることがあります。



- 多重露出撮影中は表示パネルの [ ] が点滅します。
- 多重露出撮影を撮影開始前に解除するには、多重露出回数を1に設定します。
- 多重露出撮影の途中で多重露出撮影を解除するときは、その時点で手順「2」、「3」の操作で多重露出回数の表示を空白にします。



多重露出撮影は一つのコマに何度も撮影するので露出値をあらかじめマイナス側に補正しておく必要があります。43ページの「7. 露出の補正方法」を参照してください。

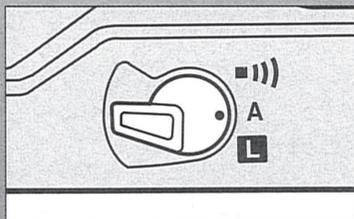
露出補正量のおおよその目安

多重露出の回数	2回	3回	4回
補正量の目安	-1.0	-1.5	-2.0

- この補正量あくまでも一般的な目安です。補正量は撮影状況によって変わります。あらかじめ撮影データを求めておいてください。

## [IV] 撮影条件に応じたカメラ の機能設定

フィルム感度の変更、フィルム巻き上げ・巻き戻しモードの変更など、撮影状況別に細かく対応するための機能について説明します。

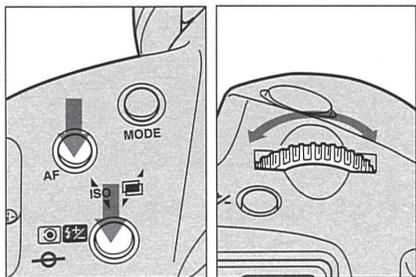


あらかじめメインスイッチを**A**に設定してからカメラの操作を行ってください。

# 1. フィルム感度を手動で設定する

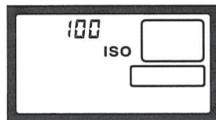
DXコードがついていないフィルムを使用する場合、あるいはフィルムに記載されている感度とは異なる感度を設定する場合は次のようにして手動で設定します。

- フィルム感度を手動で設定するときは、フィルムをカメラに装填してから行ってください。
- 手動で設定できるフィルム感度の範囲はISO 6~6400、DXコードによる場合はISO 25~5000です。



- 1 AFモード選択ボタンと測光モード選択／調光補正ボタンを同時に押しながら、表示パネルに希望するフィルム感度が表示されるまでメイン電子ダイヤルを右または左に回します。

- AFモード選択ボタンと測光モード選択ボタンを同時に押すと、表示パネルにISOとそのとき設定されているフィルム感度が表示されます。



- 2 AFモード選択ボタンと測光モード選択／調光補正ボタンから指を離すとフィルム感度は設定されます。



フィルム感度を手動で設定してもDXコードの付いているフィルムを入れ換えると設定した数値はキャンセルされます。

## 2. フィルム巻き上げモードを変更する

フィルムの巻き上げには1枚撮りと連続撮影の2種類があります。

### ●1枚撮り (□)

撮影したあとカメラが自動的にフィルムを1コマ巻き上げます。撮影後シャッターボタンを半押し位置まで戻すだけで、AEロックのまま次の撮影を行うことができます。(ONE SHOT、評価測光の場合)

### ●連続撮影 (□)

シャッターボタンを押し続けている間、1秒間に約3コマで連続撮影します。

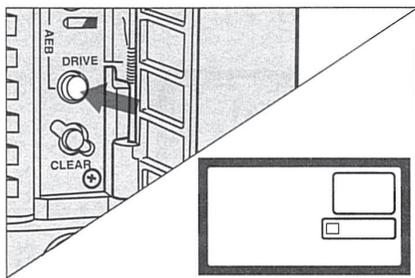
◆別売のパワードライブブースターE1を取り付けると、連続撮影は以下のように変わります。

### ●低速連続撮影 (□L)

シャッターボタンを押し続けている間、1秒間に約3コマで連続撮影します。

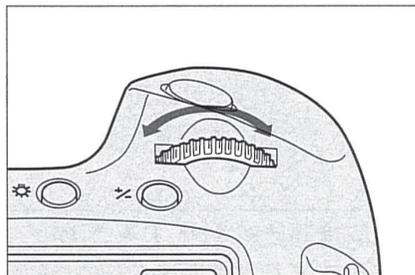
### ●高速連続撮影 (□H)

シャッターボタンを押し続けている間、1秒間に約6コマで連続撮影します。



1 側面カバーを開けて巻き上げモードセットボタンを押します。

- 表示パネルにフィルム巻き上げモードが表示されます。
- 表示はタイマーの働きでボタンから指を離しても6秒間表示されています。



2 表示パネルに希望するフィルム巻き上げが表示されるまでメイン電子ダイヤルを右または左に回します。

3 シャッターボタンを半押しするか、6秒経過すると設定は完了します。



### フィルム巻き上げ自動変速機能

低温下での撮影で電池の容量が急激に低下したり、フィルム巻き上げが重くなった場合には自動的にフィルム巻き上げ速度を遅くして、巻き上げ速さよりも巻き上げる力を優先する機能が組み込まれています。この機能をフィルム巻き上げ自動変速機能といいます。この機能が働くと表示パネルのフィルム巻き上げモード表示（□ □L □H）のいずれかが点滅します。

この機能の解除は、側面カバー内の巻き上げモードセットボタンを押すか、フィルムの交換や電池の交換によって行われます。この機能が作動したときは電池容量の確認（16ページ参照）を行いその結果の指示に従ってください。

- フィルムの巻き上げや巻き戻しが途中で停止すると表示パネルのbcが点滅します。新品の電池に交換すると、フィルムの巻き上げは継続され、フィルムの巻き戻しは途中巻き戻しボタン（)を押せば継続されます。
- 寒冷地では電池をポケットなどに入れて暖めると使えるようになることもあります。

- AFモードの違いによる連続撮影コマ数（コマ/秒）

	ONE SHOT/マニュアル	AI SERVO
連続撮影（  )	約3コマ	約2コマ

## 3. フィルム巻き戻しの変更

---

通常はフィルムの最後のコマを撮影すると自動的に高速でフィルムが巻き戻され、フィルムの先端はパトローネに巻き込まれますが、カスタム機能 No. F-1 および カスタム機能 No. F-2 を利用することにより、フィルムの巻き戻しを以下のように変更することができます。

- カスタム機能 No. F-1 および カスタム機能 No. F-2 を併用することができます。
- カスタム機能の設定は83ページの「1. カスタム機能の設定と解除」を参照してください。

---

### カスタム機能 F-1 の利用による変更内容

86ページ参照

- F-1-0** フィルム終了と同時に高速で巻き戻しを開始する。
- F-1-1** フィルムを終了しても巻き戻しを開始せず、途中巻き戻しボタン (⓪Ⓜ) を押すと高速で巻き戻しを開始する。
- F-1-2** フィルム終了と同時に静粛巻き戻しを開始する。
- F-1-3** フィルムを終了しても巻き戻しを開始せず、途中巻き戻しボタン (⓪Ⓜ) を押すと静粛巻き戻しを開始する。

のいずれかに変更することができます。

---

### カスタム機能 F-2 の利用による変更内容

86ページ参照

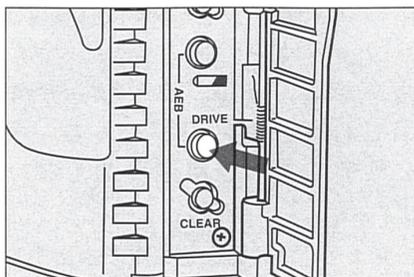
- F-2-0** フィルムを巻き戻したときに、フィルムの先端をパトローネに巻き込む。
- F-2-1** フィルムを巻き戻したときに、フィルムの先端をパトローネに巻き込まない。

のいずれかに変更することができます。

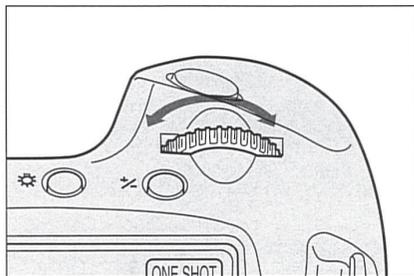
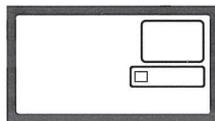
---

## 4. セルフタイマーを利用して撮る[☺]

セルフタイマーにはシャッターボタンが押されてから約10秒後に撮影する10秒タイマーと、約2秒後に撮影する2秒タイマーの2種類あります。セルフタイマーを利用しての撮影には三脚を使用してください。



- 1 側面カバーを開けて巻き上げモードセットボタンを押します。
  - 表示パネルにフィルム巻き上げモードが表示されます。
  - 表示はタイマーの働きでボタンから指を離しても6秒間表示されています。

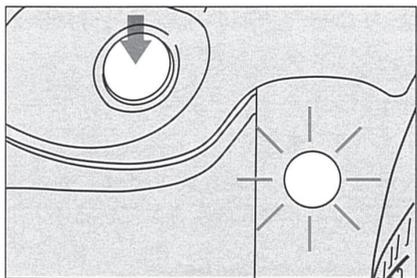


- 2 表示パネルに希望するセルフタイマー機能が表示されるまで、メイン電子ダイヤルを右または左に回します。
  - ☺<sup>10</sup> : 10秒タイマー
  - ☺<sub>2</sub> : 2秒タイマー



グループでの撮影や記念写真に撮影者が加わるときは10秒タイマーを、接写や複写撮影時のカメラぶれ（シャッターボタンを押したときにカメラがわずかに揺れること）を防ぐために2秒タイマーを、と使い分けるとよいでしょう。

## セルフタイマーを利用して撮る[Ⓜ]



3 ファインダーをのぞいてシャッターボタンを半押しし、合焦マークの点灯と露出表示を確認します。

4 シャッターボタンを全押しします。セルフタイマー作動表示ランプが点滅を始め、セルフタイマーが作動中であることを知らせます。撮影2秒前になると点滅が速くなります。

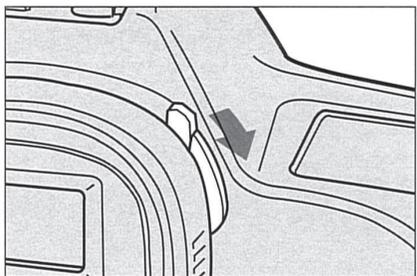
- セルフタイマー撮影を途中で中止するときは、メインスイッチを  にしてください。



被写体にピントを合わせることができなくなるので、レンズの前に立ってシャッターボタンを押さないでください。

### ●アイピースシャッターについて

アイピースシャッターを閉じるとシャッターボタンを押すときにファインダーから目を離しても、ファインダーから不必要な光が入って露出値が変わるのを防ぐことができます。セルフタイマー撮影などに使用してください。

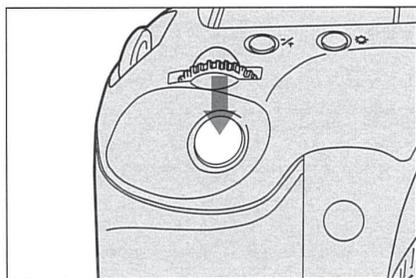


アイピースシャッターレバーを矢印の方向に操作するとアイピースシャッターを閉じることができ、逆方向に操作するとアイピースシャッターは開きます。

## 5. ミラーアップ撮影

カスタム機能 No. F-12（92ページ参照）を利用して、ミラーアップと露光を別々に行うミラーアップ撮影を行うことができます。ミラーショックが気になる接写や超望遠レンズを使用するときなどにご活用ください。ミラーアップ撮影を設定すると、カメラの作動は以下のようになります。

- カスタム機能の設定は83ページの「1. カスタム機能の設定と解除」を参照してください。
- ミラーアップ撮影には別売のリモートスイッチ60T3の併用をおすすめします。



- 1 シャッターボタン全押しでミラーが上がります。
  - ミラーアップしてから30秒経過すると、ミラーは自動的に下がります。再度シャッターボタンを全押しするとミラーアップします。
- 2 一度シャッターボタンから指を離し、再度シャッターボタンを全押しするとシャッターが切れてミラーは下がります。

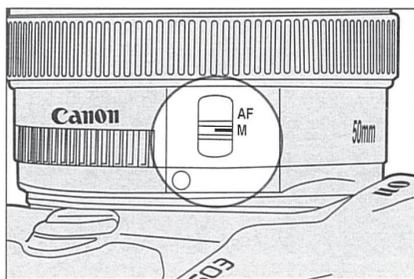


- 晴天の真夏の海岸やスキー場のように極端に明るいところでのミラーアップ撮影では、ミラーアップ後30秒以内にシャッターを切ってください。
- ミラーアップ撮影ではレンズを太陽に向けないでください。シャッター幕が焼けて損傷する恐れがあります。
- ミラーアップ撮影は、フィルム巻き上げモード（1枚撮り・連続撮影）にかかわらず、1枚撮りになります。
- セルフタイマーとミラーアップを併用すると、初めのシャッターボタン全押しでミラーが上がって10秒セルフタイマーのときは10秒後に、2秒セルフタイマーのときは2秒後にシャッターが切れます。
- コマンドバックE1を併用してミラーアップ撮影すると、コマンドバックのタイマー機能は使用できなくなります。
- バルブ撮影とセルフタイマーを併用してミラーアップ撮影するとき、セルフタイマー作動中にシャッターボタンから指を離すと、シャッターが切れたような音がしますが実際は撮影されていませんのでご注意ください。

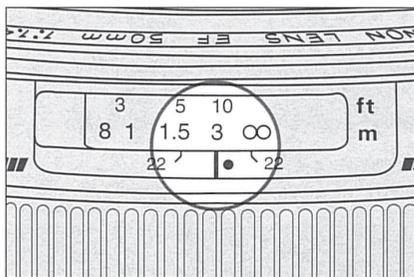
## 6. 赤外線写真撮影

赤外線写真撮影には赤外線に感光するフィルムを使用します。赤外線は可視光線よりも波長が長いので、一般のモノクロ赤外フィルムを使用したときはピントを結ぶ位置が異なり、レンズに表示された赤外線撮影用のマークでピント位置を修正する必要があります。また撮影に際しては赤フィルターを併用すると効果があります。

- 赤外線写真撮影には距離目盛窓のあるレンズをお使いください。
- 赤外写真撮影やカラー赤外フィルムについては、フィルムの使用説明書に従ってください。



- 1 被写体にピントを合わせます。
- 2 レンズのフォーカスモードスイッチをMに設定します。



- 3 手順「1」でピントを合わせた結果をレンズの距離目盛りで確認します。

- 仮に被写体までの距離が3mとします。

- 4 レンズの距離目盛りの3mを手動でレンズの赤外マーク位置に合わせます。

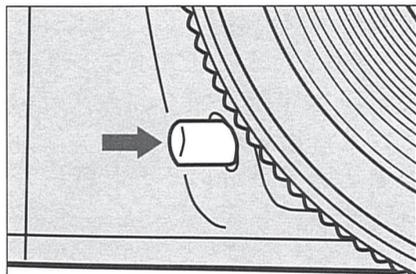
- レンズの赤外マークは800ナノメートルの波長に合わせてあります。一般のモノクロ赤外フィルムの波長特性はフィルムの種類によって異なります(750~830ナノメートル)。撮影の際は赤外指標を中心にその前後にも合わせて撮影することをおすすめします。

下記のレンズは特性上、赤外モノクロフィルムを使用する場合でもピント位置の修正をする必要が無い為、赤外指標を設けていません。

EF 200mm F1.8L USM EF 300mm F2.8L USM

EF 500mm F4.5L USM EF 600mm F4L USM

## 7. 被写界深度の確認

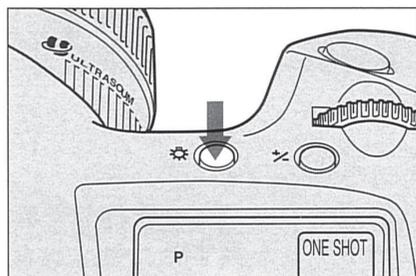


ピントを合わせた被写体を中心にその前後にピントの合っている範囲があります。この範囲のことを被写界深度といい、設定した絞り値によってピントの合う範囲が異なります。被写界深度確認スイッチを押すと、そのときの絞り値まで絞り込み、絞り値の効果をファインダーで確認することができます。



- 被写界深度確認スイッチを押すとAEロック状態になります。
- オートフォーカス作動中は被写界深度確認スイッチは機能しません。

## 8. 表示パネルの照明

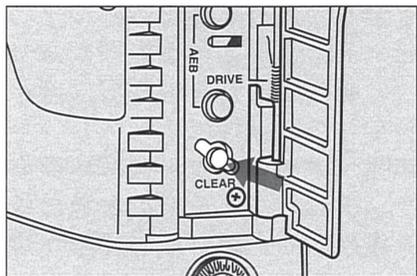


表示パネルには照明機能が付いています。暗い場所での撮影などで表示パネルが見にくいときは表示パネル照明ボタン（☀）を押すと約6秒間照明されます。6秒以内に照明を消すときは再度表示パネル照明ボタン（☀）を押します。表示パネルの照明は撮影終了後、約2秒で自動的に消えます。



- 表示パネルが照明されている間に、各種操作ボタンを操作すると、照明時間は引き続き延長されます。
- バルブ撮影中は表示パネルの照明は消えます。

## 9. カメラの全ての設定を解除する



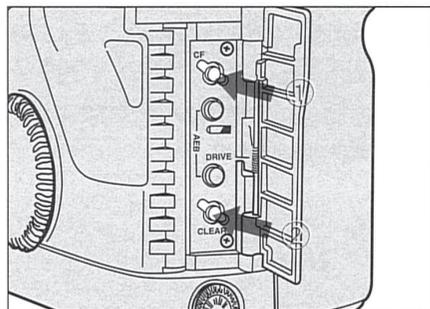
### ●設定機能の一括解除

側面カバー内にあるクリアボタンを押すと、カスタム機能を除く、カメラの全ての設定を一度に解除します。解除されたあとのカメラは以下の状態になります。

- 撮影モード： . . . . . プログラムAE [P]モード
- AFモード： . . . . . ONE SHOTオートフォーカス
- 測光方式： . . . . . 評価測光
- フィルム巻き上げモード： . . . . . 一枚撮り
- カスタム機能： . . . . . 解除されません



カスタム機能 No. F-8 で評価測光を中央部重点平均測光に変更して、部分測光またはスポット測光で撮影しているときは、クリアボタンを押してもそのときの測光方式は解除されません。

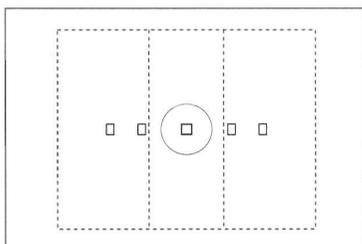


### ●カスタム機能の一括解除

カスタム機能セットボタンを押した直後にクリアボタンを押すと、カスタム機能の設定全てが解除されます。その他のカメラの設定は解除されません。

## [V] ストロボを利用しての撮影

EOS専用ストロボをカメラに取り付けるだけで、通常の自動撮影と同じ感覚でストロボ撮影を行うことができます。通常の露出補正はもちろん、カメラ側の操作によってストロボ露出のみ単独で調光を補正することもできます。



5点のAFフレームに対応した3分割（中央・右・左）自動調光により、中央でピントを合わせた場合は中央、左の場合は左、右の場合は右というように、AFでピントを合わせた被写体を基準にして、適切なストロボ露出が自動的に決まります。

# 1. EOS専用スピードライトを利用する

EOS専用スピードライト（540EZ、430EZ、420EZ、300EZなど）を使用すると、通常の自動撮影と同じ感覚で簡単にストロボ撮影をすることができます。従来難しいとされてきた日中シンクロ撮影にもストロボのフルオート機能により簡単にご利用いただけます。また、ピントが合いにくい状況では自動的に被写体を照らしピントを合わせやすくするAF補助光を備えたスピードライトも用意されています。

これら専用のスピードライトをカメラに取り付けるだけでストロボ同調シャッター速度は1/250秒以下に自動的に設定され、ストロボの充電が完了するとファインダー内にストロボ充電完了表示が表示されます。詳しくは各専用スピードライトの使用説明書を参照してください。



- 540EZのAF補助光はEOS-1 N の5つのAFフレームに、他のスピードライトは中央のAFフレームのみに対応しています。
- 480EGにはAF補助光は搭載されていません。
- カメラとストロボの絞り値の表示が異なることがありますが、実際の露出制御は正常に行われます。
- AI SERVOオートフォーカスでストロボ撮影した場合、ストロボのAF補助光は機能しません。AF補助光が必要な状況ではONE SHOTオートフォーカスを使用してください。

## ●ストロボ発光自動低減コントロールについて

トップライト気味の逆光状態にある被写体を専用ストロボで撮影すると、ストロボ光によって被写体が露出オーバーにならないようにするため、ストロボの発光量を自動的に減らします。この機能をストロボ発光自動低減コントロールといいます。

カスタム機能 F14

92ページ参照

強い逆光下でストロボの光量が不足しないよう、ストロボ発光自動低減コントロールを解除することができます。夕日などの強い逆光での撮影で被写体の露出がアンダーになるのを防ぎます。

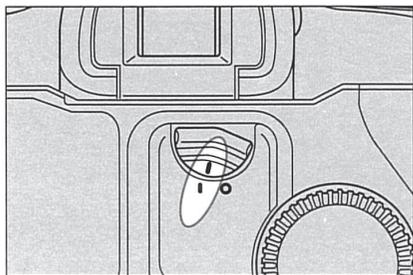
## 2. ストロボの調光補正

専用スピードライトの自動調光レベルをカメラで補正することができます。補正量は1/3段ステップで+3段から-3段の範囲です。

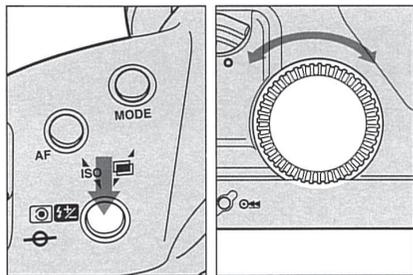
カスタム機能 **F-6**

88ページ参照

調光補正量を1/2段ステップに変更することができます。

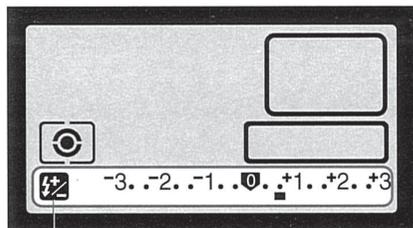


1 サブスイッチをIにします。



2 測光モード選択／調光補正ボタンを押しながら、サブ電子ダイヤルで希望する補正量を選択します。

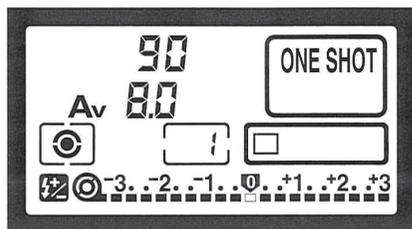
- 表示パネルの露出補正表示に補正量が表示されます。
- 表示で、+側は露出オーバーを示し、-側は露出アンダーを示します。



調光補正マーク

+2/3段調光補正をした例

## ストロボの調光補正



3 測光モード選択／調光補正ボタンから指を離すと、通常の表示に戻り  が点灯し調光補正状態を表示します。(補正値は表示しません)。

- 調光補正を解除するときは測光モード選択／調光補正ボタンを押しながら、サブ電子ダイヤルで補正量を適正露出指標 (  ) の位置に戻します。
- 設定した補正量はメインスイッチを  にしても解除されません。



別売のコマンドバックE1にはサブ電子ダイヤルがありません。背ぶたをコマンドバックE1に交換したときは、測光モード選択／調光補正ボタンとAFフレーム選択ボタンを押しながらメイン電子ダイヤルを回して調光補正します。

### ●ストロボ調光補正できるスピードライト

キヤノン専用スピードライトはカメラで調光補正することができます。540EZ, 430EZはストロボ側でも調光補正できます。この2機種ではカメラとスピードライトの両方で調光補正した場合、スピードライト側の調光補正が優先され、カメラによる補正は機能しません。



300TLを使用して調光ストロボ撮影するときは、ストロボのモードセットボタンをMHi、MLo以外に設定してください。TTL調光ストロボ撮影することができます。



上記以外のキヤノンスピードライトはマニュアル発光のみ撮影が可能です。

## 3. 汎用ストロボを利用する

小型の汎用ストロボは1/250秒以下のシャッター速度で、スタジオ用の大型ストロボは1/125秒以下のシャッター速度で同調撮影することができます。なお、お使いになるストロボがカメラに正しく同調するかどうか、あらかじめ確認してからお使いください。

### ●シンクロ接点について

シンクロ接点を利用して、シンクロコード付きのストロボを使用することができます。シンクロ接点はコードの抜け落ちを防止するロックねじ付きです。シンクロ接点はX接点のみで、1/250秒以下のシャッター速度に同調します。

- TTL自動調光はしません。



- アクセサリーシューとシンクロ接点にそれぞれストロボを接続して、同時に使用することができます。
- このカメラにはキャノンの専用スピードライトをお使いになることをおすすめいたします。



他社製の特定のカメラ専用のストロボ（一般にホットシューに複数の接点を持っています）およびストロボ用付属品をお使いになると、カメラが正常な機能を発揮しないばかりでなく、故障の原因となることがありますのでご注意ください。

## [VI] カスタム機能

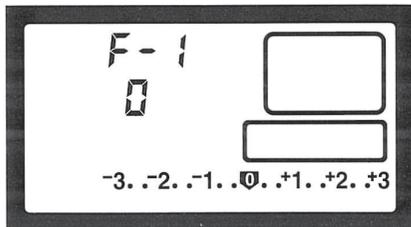
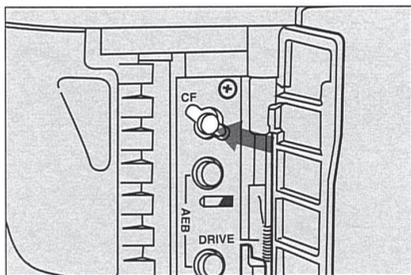
このカメラの機能はさまざまな撮影スタイルに応じて細かく変更することができます。これをカスタム機能といいます。

# 1. カスタム機能の設定と解除

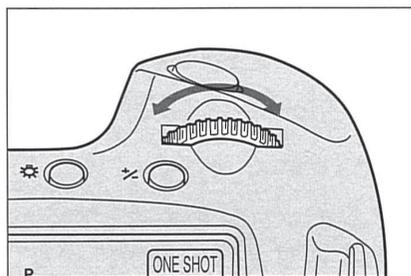
## ●カスタム機能の設定

- 1 メインスイッチを**A**にします。
- 2 側面カバーを開けてカスタム機能セットボタンを押します。

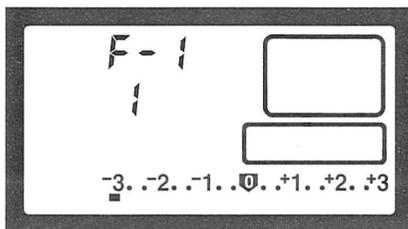
- ・表示パネルにカスタム機能番号が表示されます。



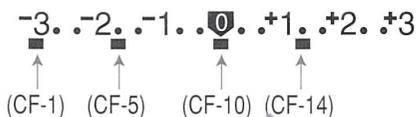
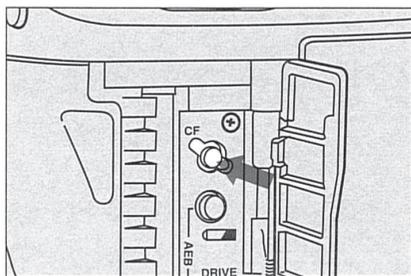
- 3 表示パネルに希望するカスタム機能番号が表示されるまで、メイン電子ダイヤルを右または左に回します。



## カスタム機能の設定と解除



- 4 表示パネルに、選択したカスタム機能の変更内容に対応した数字が表示されるまでカスタム機能セットボタンを押します。カスタム機能セットボタンを押すたびに数字は変わります。



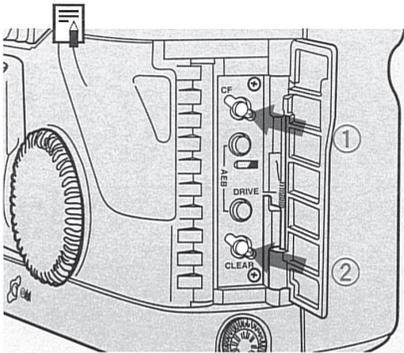
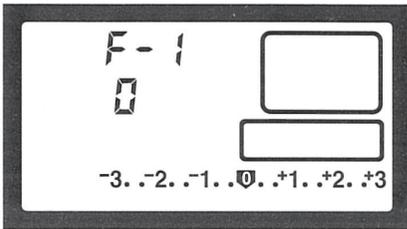
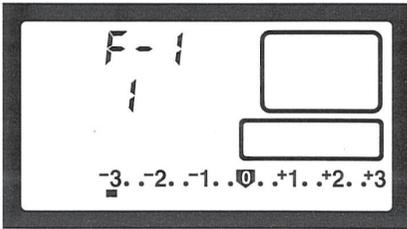
カスタム機能、No. 1、No. 5、No.10、No.14をセットした例

- カスタム機能が設定されると図のように表示パネルの露出補正表示が表示されます。-3の下の位置が、カスタム機能No.1の設定を示し、左から順に1つずつNo.14までの設定を示します。
- カメラ操作中にカスタム機能セットボタンを押すと設定したカスタム機能を確認できます。

- 5 シャッターボタンを半押しすると表示パネルは通常の見出しに戻り、カスタム機能の設定を終了します。

### ●カスタム機能の解除

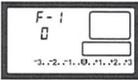
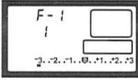
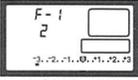
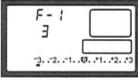
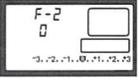
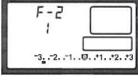
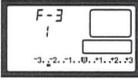
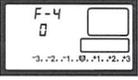
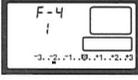
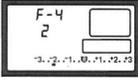
- 1 設定を解除するカスタム機能番号を選択し、表示パネルに0が表示されるまでカスタム機能セットボタンを押します。
- 2 シャッターボタンを半押しすると表示パネルは通常の表示に戻り、カスタム機能の解除を完了します。



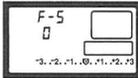
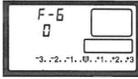
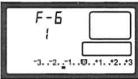
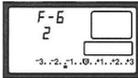
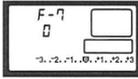
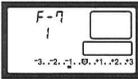
### カスタム機能の一括解除

カスタム機能設定中に、側面カバー内にあるクリアボタンを押すと、全てのカスタム機能の設定を解除（0に設定）することができます。

## 2. カスタム機能で変更できる内容

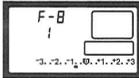
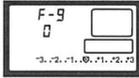
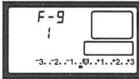
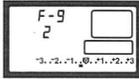
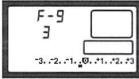
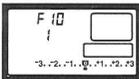
	カスタム機能 No.	変更対象機能	パネル表示	選択番号	シールマーク
フィルムセット関係	F-1	フィルム自動巻き戻しの設定	 	0	
			 	1 2 3	  
フィルムセット関係	F-2	フィルム巻き戻し終了時のフィルム先端状態	 	0 1	 
フィルムセット関係	F-3	フィルム感度の設定	 	0 1	ISO DX ISO M
フォーカス関係	F-4	AF作動の変更	 	0 1 2	●AF ●AEL  ●AEL ●AF  ●AF ●AFL
					

変更内容	こんなときに使えば便利	参照頁
<p>高速で自動巻き戻しする。</p> <p>自動巻き戻しを禁止する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>途中巻き戻しボタンで高速巻き戻しする。</li> </ul> <p>巻き戻しを静粛に自動巻き戻しする。(低速)</p> <p>自動巻き戻しを禁止する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>途中巻き戻しボタンで静粛巻き戻しする。(低速)</li> </ul>	<p>劇場や静かな場所、プロゴルファーのプレーの撮影など、突然のフィルム巻き戻し音その場の雰囲気上好ましくないときに有効。</p>	70
<p>パトローネに巻き込む。</p> <p>パトローネに巻き込まない。</p>	<p>報道機関など自社内でフィルムの現像処理を行う場合に有効。自動巻き戻し、途中巻き戻しともフィルム先端はパトローネ外に残る。</p>	70
<p>DXコードで自動設定する。</p> <p>手動で設定する。 (DXコードを受けつけない)</p>	<p>テスト撮影の結果求めた実効フィルム感度を設定するときに利用する。フィルム装填のたびに感度を修正するわずらわしさが無くなる。</p>	67
<p>シャッターボタン半押しでAF作動、AEロックボタン(※)でAEロックする。</p> <p>AEロックボタン(※)でAF作動、シャッターボタン半押しでAEロックを行う。</p> <p>シャッターボタン半押しでAF作動、AEロックボタン(※)でAFロックする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この場合AEロックできなくなります。</li> </ul>	<p>1：ピント合わせと露出決定をそれぞれ別々に行って撮影するときに有効。</p> <p>2：AI SERVOオートフォーカス・動体予測機能でスポーツ撮影するとき、ピントを一時固定するときに有効。</p>	32 42 35

	カスタム機能 No.	変更対象機能	パネル表示	選択番号	シールマーク
露出関係	F-5	マニュアル露出時のシャッター速度、絞り値の設定方法		0	 Tv  Av
				1	 Av  Tv
露出関係	F-6	シャッター速度、絞り値、露出補正值、調光補正值、AEBの表示ステップ		0	1/3 STEP
				1	1 STEP
				2	1/2 STEP
フォーカス関係	F-7	電子式手動フォーカスリングでの手動ピント合わせ		0	AF M
				1	AF

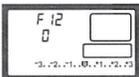
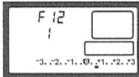
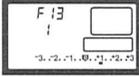
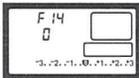
## カスタム機能で変更できる内容

変更内容	こんなときに使えば便利	参照頁										
<p>シャッター速度をメイン電子ダイヤルで選択し、絞り値をサブ電子ダイヤルのみ、あるいは露出補正ボタン（<b>ⓧ</b>）とメイン電子ダイヤルで行う。</p> <p>絞り値をメイン電子ダイヤルのみで選択し、シャッター速度をサブ電子ダイヤルのみ、あるいは露出補正ボタン（<b>ⓧ</b>）とメイン電子ダイヤルで行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カスタム機能No. 11 と併用する場合は94ページ「カスタム機能No. F-5 と F-11 の併用」を参照してください。</li> </ul>	<p>マニュアル露出撮影時に露出を変える場合、メイン電子ダイヤルで絞り値を変えるかシャッター速度を変えるか選択できる。メイン電子ダイヤルで絞り値を変えられるようにするとストロボ使用によるスタジオ撮影ではカメラの操作性が向上する。</p>	61										
<p>シャッター速度、絞り値、露出補正、調光補正、AEBを1/3段ステップで設定する。</p> <p>シャッター速度、絞り値を1段ステップに、露出補正、調光補正、AEBを1/3段ステップで設定する。</p> <p>シャッター速度、絞り値、露出補正、調光補正、AEBを1/2段ステップで設定する。</p> <p>手動ピント合わせを可能にする。</p>	<p>シャッター速度と絞り値を従来と同じ慣れ親しんだステップで設定することができる。1/2段ステップの設定や露出補正は幅広い撮影スタイルに対応することができる。</p>	43 46 52 55 61 79										
<ul style="list-style-type: none"> <li>電子式手動フォーカスリングを持っているレンズのみで作動。</li> </ul> <p>手動ピント合わせを禁止する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>レンズのフォーカスモードスイッチをMに切り換えれば手動ピント合わせできる。</li> </ul>	<p>電子式手動フォーカスリングを採用しているレンズでオートフォーカス後、不用意に電子式手動フォーカスリングに触れたときにピントがずれてしまうのを防ぐ。</p> <p>対象レンズ</p> <table data-bbox="527 1282 919 1411"> <tr> <td>EF 50/1.0L USM</td> <td>EF 85/1.2L USM</td> </tr> <tr> <td>EF 200/1.8L USM</td> <td>EF 300/2.8L USM</td> </tr> <tr> <td>EF 400/2.8L USM</td> <td>EF 500/4.5L USM</td> </tr> <tr> <td>EF 600/4L USM</td> <td>EF 1200/5.6L USM</td> </tr> <tr> <td>EF 28-80/2.8 - 4L USM</td> <td></td> </tr> </table>	EF 50/1.0L USM	EF 85/1.2L USM	EF 200/1.8L USM	EF 300/2.8L USM	EF 400/2.8L USM	EF 500/4.5L USM	EF 600/4L USM	EF 1200/5.6L USM	EF 28-80/2.8 - 4L USM		37
EF 50/1.0L USM	EF 85/1.2L USM											
EF 200/1.8L USM	EF 300/2.8L USM											
EF 400/2.8L USM	EF 500/4.5L USM											
EF 600/4L USM	EF 1200/5.6L USM											
EF 28-80/2.8 - 4L USM												

	カスタム機能 No.	変更対象機能	パネル表示	選択番号	シールマーク
露出関係	F-8	中央部重点平均測光の選択		0	
				1	
露出関係	F-9	AEB撮影順		0	
				1	
				2	
				3	
フォーカス関係	F-10	AFフレームのスーパーインポーズ解除		0	
				1	

## カスタム機能で変更できる内容

変更内容	こんなときに使えば便利	参照頁
<p>評価測光。</p> <p>中央部重点平均測光。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表示パネルは評価測光表示のままです。</li> </ul>	<p>中央部重点平均測光にすると、露出決定時に撮影者の意図が反映されやすくなり、長年の経験に基づいた露出決定操作が生かされる。</p>	<p>39</p>
<p>露出アンダー→適正露出→露出オーバーの順で行う。</p> <p>露出アンダー→適正露出→露出オーバーの順で行う。</p> <p>適正露出→露出アンダー→露出オーバーの順で行う。</p> <p>適正露出→露出アンダー→露出オーバーの順で行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>0と2：メインスイッチ（L）、レンズの交換、フィルムの巻き戻し、フィルムの装てん、バルブ撮影の設定、ストロボの充電完了、クリアボタン押しのいずれかでAEB撮影の解除。</li> <li>1と3：メインスイッチ（L）、レンズの交換、フィルムの巻き戻し、フィルムの装てんではAEB撮影の解除をしない。AEB撮影の設定／随時を、AFモード選択ボタンと撮影モード選択ボタンを押しながら、メイン電子ダイヤルを操作しても行うことができる。</li> </ul>	<p>2、3：1コマ目のシャッターチャンス を重視した0→→→+という撮影順を選択できる。</p> <p>1、3：レンズやフィルムの交換、さらにメインスイッチ切ってもAEB撮影を継続することができ、AEB撮影を常用する際に有効。また、いちいち側面カバーを開けずにAEB撮影を設定できるので設定の煩わしさを軽減する。</p>	<p>46</p> <p>48</p>
<p>赤く点灯させる。</p> <p>点灯を禁止する。</p>	<p>被写体にピントが合ったときにAFフレームが赤く光ると撮影に集中できない、あるいは手動によるピント合わせを重視した撮影の際に有効。</p>	<p>31</p>

	カスタム機能 No.	変更対象機能	パネル表示	選択番号	シールマーク
フォーカス関係	F-11	AFフレームの 選択方法		0	
				1	
				2	
ミラーアップ	F-12	ミラーアップ 撮影		0	
電子設定 電子音	F-12 (RS)	合焦時の 電子音		0	
				1	
露出関係	F-13	AFフレーム連 動スポット測 光の設定		0	
				1	
ストロボ	F-14	日中シンクロ ストロボ発光 コントロール		0	
				1	

## カスタム機能で変更できる内容

変更内容	こんなときに使えば便利	参照頁
<p>AFフレーム選択ボタン (  ) とメイン電子ダイヤルで行う。</p> <p>露出補正ボタン (  ) とメイン電子ダイヤルで行う。</p> <p>サブ電子ダイヤルで行う。または、露出補正ボタン (  ) とメイン電子ダイヤルで行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サブ電子ダイヤルによるAFフレーム選択は測光中・6秒タイマー作動中・AI SERVO連写中に行なえる。</li> </ul> <p>AFフレームの右端/左端より更に同一方向にダイヤルを回してもAFフレームは変わらない。</p>	<p>0、1：EOS-1 Nの操作を、併用するカメラ (EOS-1、EOS 5) の操作に合わせる。</p> <p>2：サブ電子ダイヤルの操作でファインダー内を移動する被写体をAFフレームで追いかけることができ、AI SERVO オートフォーカス・動体予測機能による撮影に有効。</p> <p>露出補正およびマニュアル露出時の絞りの設定は、測距点選択ボタンとメイン電子ダイヤルで行なう。</p>	<p>31</p> <p>35</p> <p>61</p>
<p>通常撮影。</p> <p>ミラーアップ撮影。</p>	<p>カメラぶれを防止するのに有効。三脚を併用する。</p>	<p>73</p>
<p>合焦時の電子音をならさない。</p> <p>合焦時の電子音をならす。</p>	<p>撮影スタイル・環境に合わせて選択する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>RSモードでは、電子音はならない。</li> </ul>	<p>103</p>
<p>ファインスポット測光範囲マーク内で行う。</p> <p>任意に選択したAFフレームに連動したスポット測光に変更する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自動選択AFのときは中央AFフレームのみでスポット測光する。</li> </ul>	<p>選択したAFフレームで測光できるので、構図を変えずスポット測光撮影するときに有効。</p>	<p>40</p>
<p>ストロボ発光自動低減コントロールが機能する。</p> <p>ストロボ発光自動低減コントロールを禁止する。</p>	<p>夕日など強い逆光下での人物撮影で人物が露出アンダーになるのを防ぐのに有効。</p>	<p>78</p>

## カスタム機能で変更できる内容

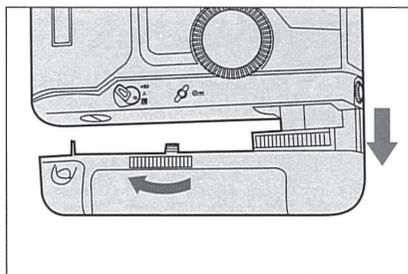
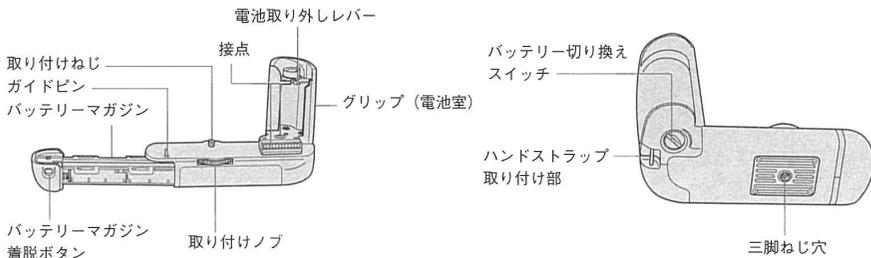
### ●カスタム機能 No. F-5 と F-11 の併用

カスタム機能No. 5とNo. 11を併用すると、シャッター速度と絞り値の選択方法は以下になります。

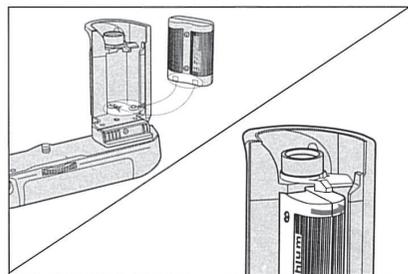
カスタム機能No.	F-5		
	選択番号		
F-11	0	シャッター速度： メイン電子ダイヤルで選択 絞り値： (1) サブ電子ダイヤルで選択、または (2) 露出補正ボタン（  ) とメイン電子ダイヤルで選択	絞り値： メイン電子ダイヤルで選択 シャッター速度： (1) サブ電子ダイヤルで選択、または (2) 露出補正ボタン（  ) とメイン電子ダイヤルで選択
	1	シャッター速度： メイン電子ダイヤルで選択 絞り値： (1) サブ電子ダイヤルで選択、または (2) AFフレーム選択ボタン（  ) とメイン電子ダイヤルで選択	絞り値： メイン電子ダイヤルで選択 シャッター速度： (1) サブ電子ダイヤルで選択、または (2) AFフレーム選択ボタン（  ) とメイン電子ダイヤルで選択
	2	シャッター速度： メイン電子ダイヤルで選択 絞り値： AFフレーム選択ボタン（  ) とメイン電子ダイヤルで選択	絞り値： メイン電子ダイヤルで選択 シャッター速度： AFフレーム選択ボタン（  ) とメイン電子ダイヤルで選択

# EOS-1 N DPをお買い求めの方へ

パワードライブブースターE1よりも小型で軽量なバッテリーパックBP-E1との組み合わせによるEOS-1 N DPは、グリップ部分にリチウム電池パック2CR5、バッテリーマガジン内に単3形アルカリマンガン乾電池4本あるいは単3形Ni-Cd電池4本を入れ、バッテリー切り換えスイッチで電源を切り換えて使用します。常温下での撮影には単3形電池で、低温下での撮影にはリチウム電池2CR5で、と撮影状況に応じて電源を切り換えることができるデュアルパワー（DP）電源方式です。また、どちらか一方の電池のみの装填でも使用することもできます。また、ホールド性を向上するハンドストラップE1（別売）の取付けも可能です。

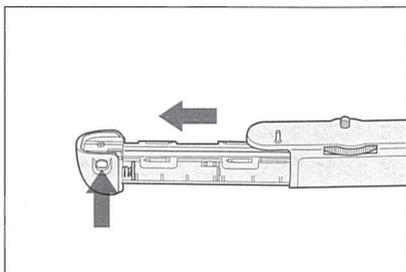


- 1 バッテリーパックBP-E1の取り付けノブを矢印の方向に回してBP-E1をカメラから外します。

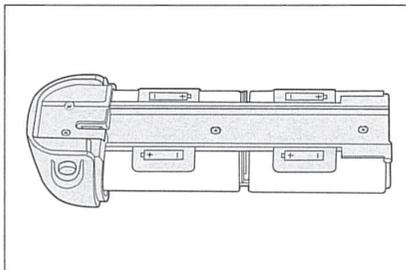


- 2 バッテリーパックBP-E1のグリップの接点にリチウム電池2CR5の接点を合わせるように入れます。

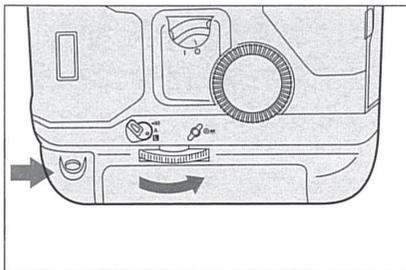
## EOS-1 N DPをお買い求めの方へ



- 3 バッテリーパックBP-E1のバッテリーマガジン着脱ボタンを押して、バッテリーマガジンを取り出します。



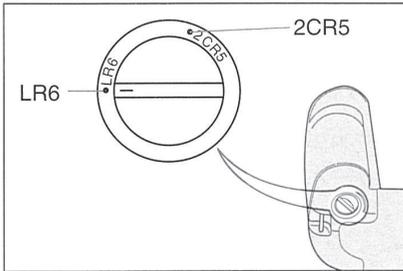
- 4 バッテリーマガジンに図のように単3形乾電池を4本入れます。



- 5 バッテリーマガジンをバッテリーパックBP-E1に入れます。  
・ バッテリーマガジンは自動的に着脱ボタンで固定されます。
- 6 バッテリーパックBP-E1を図のようにカメラに取り付け、取り付けノブを矢印の方向に回して完全に止めます。

## 1. バッテリー切り換えスイッチ

バッテリー切り換えスイッチで希望する電源に切り換えて使用します。スイッチと電源の関係は以下のようになっています。



- 1) 2CR5：グリップ内に装填したリチウム電池2CR5を使用します。
- 2) LR6：バッテリーマガジン内に装填した単3形アルカリマンガン乾電池あるいは単3形Ni-Cd電池を使用します。



単3形電池は、アルカリマンガン電池（LR6）あるいは、Ni-Cd電池を使用することをおすすめいたします。

単3形リチウム電池は電圧が高く本体の電子回路を損傷する可能性があります。

- カメラが誤動作する原因となりますので、カメラ作動中（例えば、フィルム巻き戻し中、遅いシャッター速度での撮影中）は電源を切り換えしないでください。

## 2. EOS-1 N DPの撮影可能本数

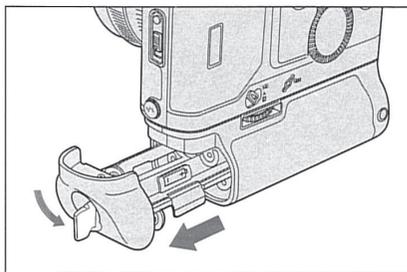
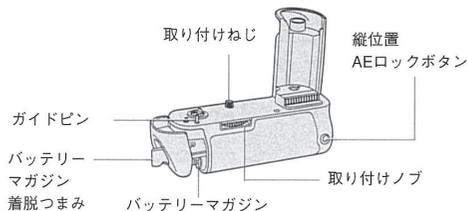
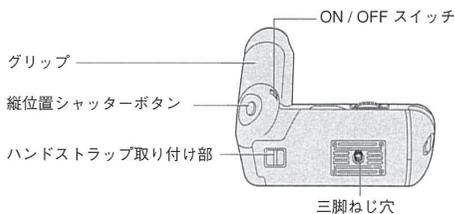
温度	撮影本数		
	リチウム電池 2CR5	単3形アルカリ マンガン乾電池	単3形 Ni-Cd電池
常温 (+20℃)	75 (50)	45 (30)	18 (12)
低温 (-20℃)	12 (8)	0 (0)	12 (8)

- テストは新品電池、EF50mm F1.4 USMレンズ、24枚撮りフィルムを使って、当社の試験条件で行っています。（ ）内は36枚撮りフィルムを使用したときの撮影本数です。
- フィルムを入れずに空撮りしたり、オートフォーカスすると撮影本数が少なくなります。

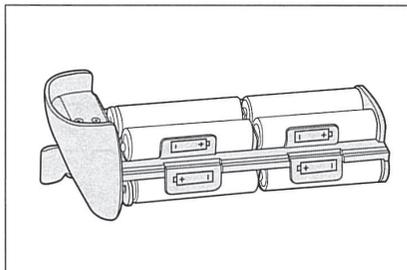
# EOS-1 N HSをお買い求めの方へ

キャノンパワードライブブースターE1との組み合わせによるEOS-1 N HSはフィルム巻き上げモードが3種類になり、撮影可能本数も次ページの表のようになります。また、縦位置撮影でのカメラの操作性向上を考慮した、縦位置シャッターボタンやAEロックボタン（\*）を設けています。

電源には単3形アルカリマンガン乾電池（もしくは、単3形Ni-Cd電池、単3形リチウム電池）8本を使用します。Ni-CdパックE1（別売）と専用のNi-CdチャージャーE1（別売）も用意されています。また、ホールド性を向上するハンドストラップE1（別売）の取付けも可能です。



- 1 パワードライブブースターE1のバッテリーマガジン着脱つまみを矢印の方向に回してバッテリーマガジンを取り出します。取り付けるときは、逆の要領で行ってください。



- 2 バッテリーマガジンに図のように単3形乾電池を8本入れます。

（EOS-1 N RSの電池の入れ方は、  
上記の方法に準じてください）

## EOS-1 N HSをお買い求めの方へ

- カメラを縦位置に構えて、縦位置シャッターボタンや縦位置AEロックボタンを使用するときは、ON/OFFスイッチをONにしてください。

### 1. フィルム巻き上げモード

- 1枚撮り (□)

撮影したあとカメラが自動的にフィルムを1コマ巻き上げます。撮影後シャッターボタンを半押し位置まで戻すだけで次の撮影を行うことができます。

- 低速連続撮影 (□L)

シャッターボタンを押し続けている間、1秒間に最高約3コマで連続撮影します。

- 高速連続撮影 (□H)

シャッターボタンを押し続けている間、1秒間に最高約6コマで連続撮影します。

### 2. AFモードの違いによる連続撮影コマ数 (コマ/秒)

	ONE SHOT/マニュアル	AI SERVO
低速連続撮影 (□L)	約3コマ	約2.5コマ
高速連続撮影 (□H)	約6コマ	約5コマ



- EOS-1 N とAEロックボタンマーク (★) のあるパワードライブブースターE1以外の組合せでは、単3形アルカリマンガン電池あるいはNi-Cd電池を使用することをおすすめいたします。単3形リチウム電池は電圧が高く本体の電子回路を損傷する可能性があります。

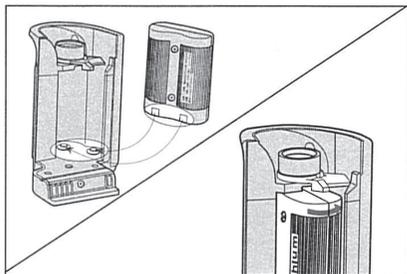
### 3. EOS-1 N HSの撮影可能本数

温度	使用電源	単3形アルカリマンガン乾電池	Ni-CdパックE1	単3形リチウム電池
	常温 (+20°C)		100 (65)	65 (45)
低温 (-20°C)		6 (4)	45 (30)	90 (60)

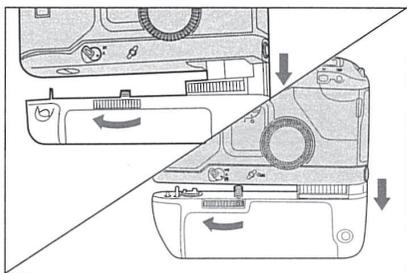
- テストは新品電池、EF50mm F1.4 USMレンズ、24枚撮りフィルムを使って、当社の試験条件で行っています。( ) 内は36枚撮りフィルムを使用したときの撮影本数です。
- フィルムを入れずに空撮りしたり、オートフォーカスすると撮影本数が少なくなります。

# ノーマルグリップへの交換

バッテリーパックBP-E1/パワードライブブースターE1を通常のEOS-1 NのノーマルグリップGR-E1（別売）に取り換えて使用することができます。

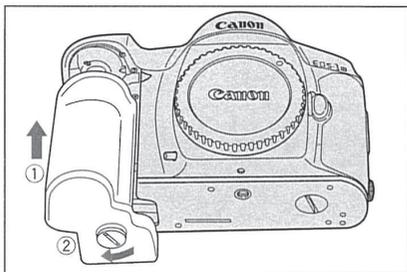


- 1 ノーマルグリップGR-E1に電池を入れます（15ページ参照）。



- 2 バッテリーパックBP-E1/パワードライブブースターE1の取り付けノブを矢印方向に回してゆるめ下にずらして外します。

EOS-1 N HS をお使いの方は、モータードライブ巻上げカプラーカバー（GR-E1に付属）をつけます。



- 3 ノーマルグリップをカメラに取り付け、着脱ねじを回して完全に止めます。
- 4 外したバッテリーパックBP-E1/パワードライブブースターE1に接点保護カバー（GR-E1に付属）をかぶせ電気接点を保護します。

# EOS-1 N RSをお買い求めの方へ

EOS-1 N RSはEOS-1 Nの機能に加え、ミラーに固定式のハードコートニューペリクルミラーを採用し、さらに高速モータードライブとRSモードを搭載した最高速AF（Auto Focus／オートフォーカス）一眼レフカメラです。

## EOS-1 N RSの主な特長

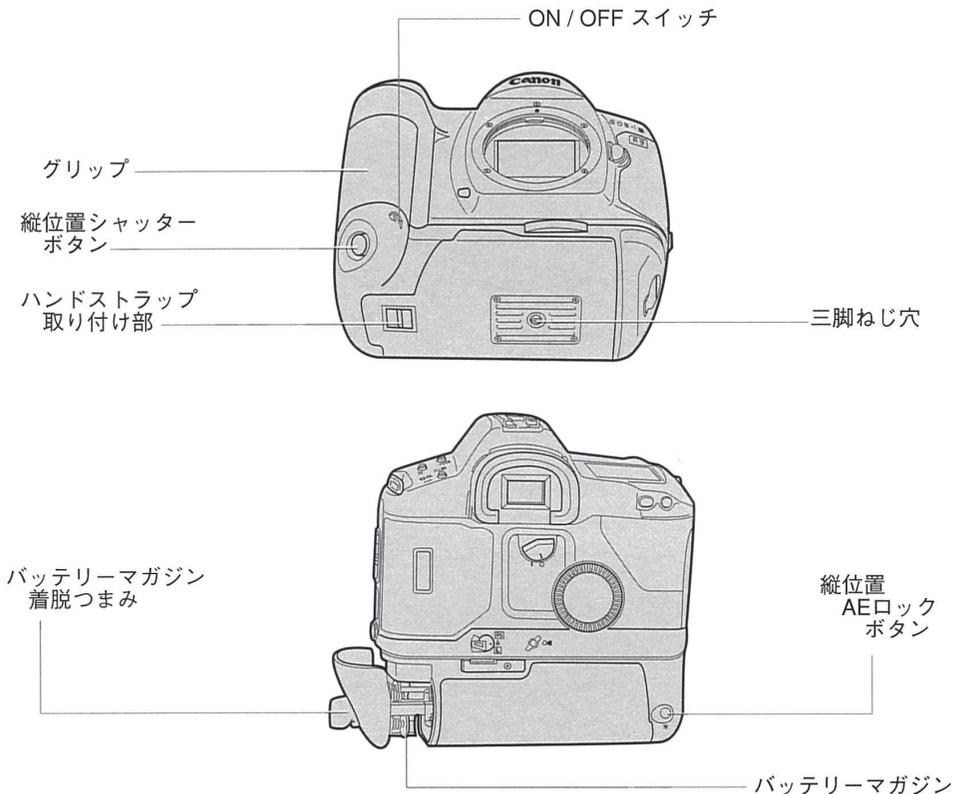
- レリーズタイムラグ0.006秒のRSモードにより決定的瞬間の撮影が容易にできます。
- 秒間約10コマの高速連続撮影ができます。
- 固定式のハードコートニューペリクルミラーの採用によりファインダー像の消失がないため、次のような利点を備えています。
  - ・ファインダーをのぞきながら、常に撮影の瞬間を確認することができます。
  - ・ファインダーをのぞきながら、ストロボの同調を確認することができます。
  - ・連続撮影を行ってもファインダー内の被写体像が安定しています。
  - ・スローシンクロ撮影時、適切なレリーズタイミングを判断することができます。
  - ・ストロボマルチ発光撮影や多重露出撮影時の構図確認ができます。
  - ・撮影の瞬間の手ぶれ状態がわかります。

### 【注意】

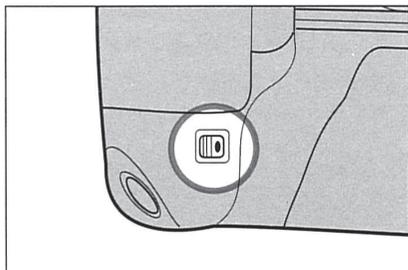
- ・EOS-1 N RSのカメラ部と電源部は一体になっており、切り離すことはできません。したがって電源部をノーマルグリップGR-E1や単3形電池パックBP-E1などと交換することはできません。

## EOS-1 N RSをお買い求めの方へ

### 各部の名称



### ●カメラの縦位置使用について

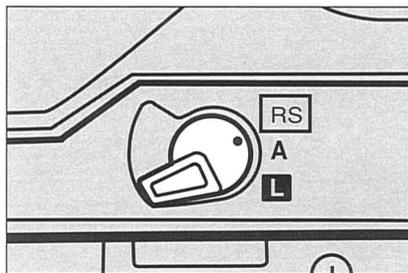


カメラを縦位置に構えて、縦位置シャッターボタンや縦位置AEロックボタンを使用するときは、ON/OFFスイッチをONにしてください。

### 1. EOS-1 N RSの電池について

- 電池のセット方法はEOS-1 N HSと同じです。98ページを参照してください。

### 2. RSモードについて



メインスイッチでRSを選択するとカメラはRSモードに設定され、自動的に以下の状態になります。

- (1) ONE SHOTオートフォーカスに切り換わります。  
\* AI SERVOオートフォーカスは選択できません。
- (2) シャッターボタン半押し、合焦後すぐに絞り込み状態になります。
- (3) レリーズタイムラグが0.006秒になります。

### 3. カスタム機能について

カスタム機能No. F-12以外はEOS-1 Nと同じです。EOS-1 N RSのカスタム機能No. F-12の内容は以下のとおりです。

#### カスタム機能 F 12

92ページ参照

ONE SHOTオートフォーカス及びマニュアルフォーカスで被写体にピントが合った時の電子音の有無を選択できます。

## EOS-1 N RSをお買い求めの方へ

### 4. フィルム巻き上げモード

- 1枚撮り (□)

撮影した後カメラが自動的に高速連続撮影時と同じ速さでフィルムを1コマ巻き上げます。

- 低速/高速連続撮影 (□L/□H)

シャッターボタンを押し続けている間、次の表に示す連続撮影ができます。

### 5. AFモードの違いによる連続撮影コマ数 (コマ/秒)

	RSモード	ノーマルモード	
		ONE SHOT AF/マニュアル	AI SERVO
低速連続撮影 (□L)	約3コマ	約3コマ	約2.5コマ
高速連続撮影 (□H)	約10コマ*	約6コマ	約5コマ

\*シャッター速度1/1000秒以上

上記以外、シャッター速度1/250秒以上

### 6. 撮影可能本数

使用電源 温度	単3形アルカリ マンガン電池 (LR6×8)	Ni-Cd/パッケE1	単3形リチウム電池 (FR6×8)
常温 (20°C)	100 (65)	65 (45)	250 (165)
低温 (-20°C)	6 (4)	45 (30)	90 (60)

- テストは新品電池、EF50mm F1.4レンズ24枚撮りフィルムを使って、当社の試験条件で行っています。( )内は36枚撮りフィルムを使用したときの本数です。
- フィルムを入れずに空撮りしたり、オートフォーカスすると撮影本数が少なくなります。

## 8. EOS-1 N RS使用上のご注意



- シャッターボタンを軽く押すとシャッターが切れたような音がします、これは遮光用シャッターを解除する音ですのでご注意ください。
- ハードコートニューベリクルミラーについたごみは、市販のプロアーブラシで軽く吹き飛ばすだけにしてください。特に汚れがひどいときは最寄りのキヤノンサービスセンターにご相談ください。
- セルフタイマーを利用した撮影のようにファインダーから目を離して撮影するときは、ファインダーから入った光が影響して正確な露出で撮影されないことがあります。また、フィルムに露光することがあります。必ずアイピースシャッターを閉じて撮影してください。



- マニュアル発光でストロボ撮影するときは、ハードコートニューベリクルミラーによるフィルムが受ける光量の減衰分を考慮して、次の計算式で得た絞り値をマニュアルで設定して撮影してください。

$$\text{公称ガイドナンバー} \times 0.8 \div \text{撮影距離} = \text{設定絞り数値}$$

- キヤノンスピードライト480EGの外部受光式自動調光モードでストロボ撮影するときは、ハードコートニューベリクルミラーによるフィルムが受ける光量の減衰分を考慮してプラス2/3段の露出補正（絞りを開く）を行うか、事前にキヤノンスピードライト480EGに設定するISO感度を通常より2/3段低く設定してください。
- ストロボ連動距離範囲は公称値より20%短くなります。（420EZ、430EZ、540EZは補正後の距離がストロボに表示されます。）
- 単独の露出計を使用して露出をマニュアル設定するときは、ハードコートニューベリクルミラーによるフィルムが受ける光量の減衰分を考慮してプラス2/3段の露出補正を行うか、事前に単独の露出計に設定するISO感度を通常より2/3段低く設定してください。
- EF50mm F1.0L USMレンズで撮影すると、写真の一部にハードコートニューベリクルミラーを固定する枠によるケラレが生じます。

## EOS-1 N RSをお買い求めの方へ

---



- カスタム機能CF-4で「1」を設定（AEロックボタンでAF作動、シャッターボタン半押しでAEロック）してRSモード撮影するときは、AF作動の終了を確認してからシャッターボタンを半押ししてください。
  - \* シャッターボタンを半押ししてからAEロックボタンを押してもAFは作動しません。
  - \* AEロックボタンを押してAF作動中にシャッターボタンを半押しすると、合焦後に絞り込み作動を行います。
- コマンドバックE1を併用することができますが、連続撮影速度を優先するような撮影のときはコマンドバックE1を併用しないでください。併用すると、RSモードではデータ写し込みをしなくても最高連続撮影コマ数が約1コマ/秒少なくなります。また、データ写し込みを行うと使用フィルムのISO感度値にもよりますがISO64フィルム使用時に最高連続撮影コマ数は約4コマ/秒となります。
- RSモードでAEB撮影はできません。

## 「故障かな？」とお考えになる前に

「カメラが故障したのかな？」と考える前に、次の表を参考にしてカメラをチェックしてみてください。それでも症状に変化がなければ、カメラを最寄りのキヤノンサービスセンターにお持ちください（裏表紙にサービスセンターの一覧があります）。

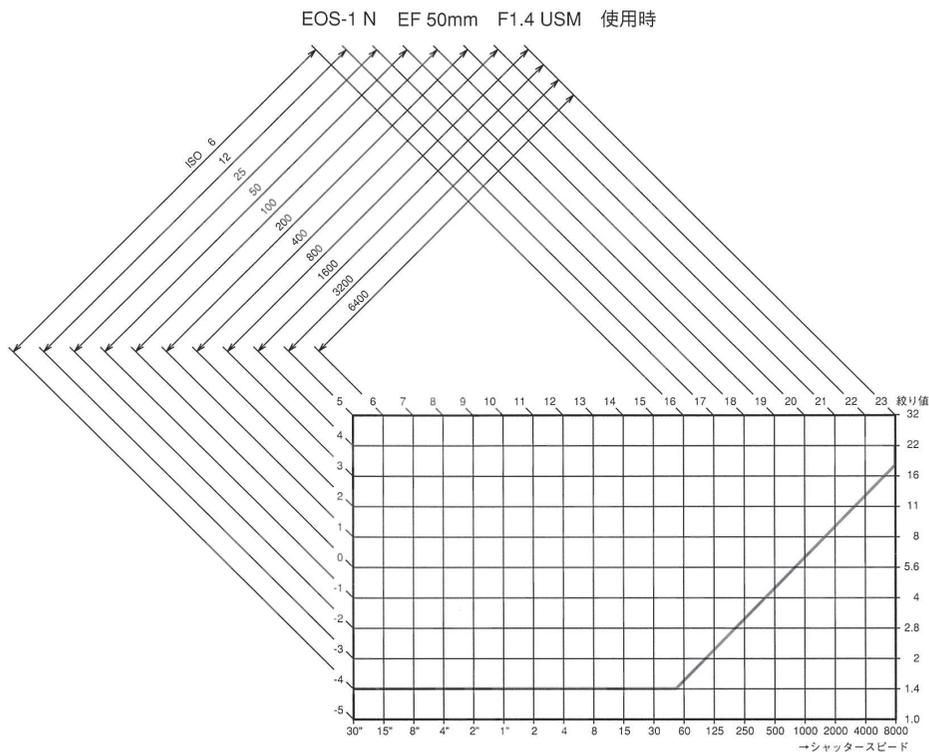
症状	原因	解決方法	参照頁
表示パネルに表示がない。	メインスイッチは入っていますか？	メインスイッチを <b>A</b> に設定してください。	17
	電池が消耗していませんか？	電池を新しいものと交換してください。	15
	電池が逆向きに入っていますか？	電池を正しい向きに入れなおしてください。	15
フィルムが装填できない。	メインスイッチは入っていますか？	メインスイッチを <b>A</b> に設定してください。	17
	フィルムは正しく入っていますか？（表示パネルにフィルム巻き上げ／巻き戻し作動表示（----）が点滅していませんか？）	フィルムを正しく入れなおしてください。	24
カメラの機能変更ができない。	メインスイッチは入っていますか？	メインスイッチを <b>A</b> に設定してください。	17
	サブスイッチは <b>I</b> に設定されていますか？	サブスイッチを <b>I</b> に設定してください。	43
AFが作動しない。	レンズのフォーカスモードスイッチが <b>M</b> になっていませんか？	レンズのフォーカスモードスイッチをAFにしてください。	19
	カスタム機能No. 4を1に設定していませんか？	カスタム機能No. 4を0に設定してください。	83 86
シャッターが切れない。	メインスイッチは入っていますか？	メインスイッチを <b>A</b> に設定してください。	17

## 「故障かな？」とお考えになる前に

症状	原因	解決方法	参照頁
シャッターが切れない。	フィルムは正しく入っていますか？（表示パネルにフィルム巻き上げ／巻き戻し作動表示（----）が点滅していませんか？）	フィルムを正しく入れなおしてください。	24
	巻き戻されたフィルムがカメラに入っていないか？（表示パネルのフィルム巻き戻し終了表示（◎）が点滅していませんか？）	フィルムを新しいフィルムと交換してください。	26
	ピントは合っていますか？（ファインダー内の合焦マークが点滅していませんか？）	もう一度シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせなおしてください。それでもピントが合わないときは36ページの「3. オートフォーカスが苦手な被写体」を参照してください。	21
フィルムの自動巻き戻しができない。	低温下で撮影していませんか？	寒さのため電池の容量が急激に低下しています。新しい電池に交換してください。	15
	カスタム機能No.1を1あるいは3に設定していませんか？	カスタム機能No.1を0あるいは2に設定してください。	83 86
表示パネルにbcが点滅している。	電池の容量が極端に少なくなっています。	シャッターボタンを半押しして、bcが消えれば正常に撮影できます。	16
	なんらかの理由でカメラが誤動作していると考えられます。	一度電池をカメラから取り出し再度入れなおしてください。 bcの点滅が消えれば正常に撮影を続けることができます。  * 以上の操作を何度してもbcの点滅が消えないときはカメラの故障です。カメラを最寄りのキヤノンサービスセンターにお持ちください。	15  裏表紙

# プログラム線図

レンズに EF50mm F1.4 USMを使用して、プログラム AE [P] に設定したときのプログラム線図を示します。



# 主な性能の一覧

**RS** はEOS-1 N RSの性能です

## ■ 形式

型式 ..... モータードライブ内蔵35mmフォーカルプレーンシャッターAF/AE一眼レフカメラ

**RS** 高速モータードライブ内蔵35mmフォーカルプレーンシャッター・固定ハーフミラー・AF/AE一眼レフカメラ

画面サイズ ..... 24mm×36mm

使用レンズ ..... キヤノンEFレンズ

レンズマウント ..... キヤノンEFマウント (完全電子制御方式)

## ■ ファインダー

型式 ..... ペンタプリズム使用、アイレベル式

視野率 ..... 上下左右ともほぼ100%

倍率 ..... 0.72倍 (−1 dpt、50mmレンズ使用時・∞)

標準視度 ..... −1 dpt、視度補正機構内蔵、補正範囲−3〜+1 (アイポイント; 20mm)

フォーカシングスクリーン ... 交換可能 (8種類)、Ec-C IIタイプ標準装備

**RS** 交換可能 (8種類)、ただしキヤノンサービスセンターで対応、Ec-Rタイプ標準装備

ミラー ..... クイックリターン式ハーフミラー (反射: 透過=63:37、ミラー切れ; 1200mm F5.6までなし)

**RS** 固定式ペリクルミラー (反射: 透過=35:65)

ファインダー情報 ..... (1) 視野内中央部; 5点AFフレーム、ファインスポット測光範囲マーク

(2) 視野外下部; シャッター速度、絞り値、**\*** (AEロック、AEB撮影途中2 Hz点滅)、**M** (マニュアル)、**⚡** (ストロボ充電完了)、**☂** (露出補正、調光補正時も点灯)、**●** (AF合焦、AF不能時8 Hz点滅警告)

(3) 視野外右部; 露出段数目盛り (1/3段ステップ±3段)、測光レベル表示マーク  
(① AEモード・露出補正量、② AEロック・リアルタイム測光偏差値、③ マニュアル露出レベル、④ AEB露出ズレ量、⑤ ストロボ撮影時の背景露出)、フィルム残量枚数

深度確認 ..... 被写界深度確認スイッチの操作で確認

■ 露出制御

測光方式 ..... 16分割高感度SPC使用、TTL開放測光、評価測光、部分測光（ファインダー中央部約9%）、ファインスポット測光（ファインダー中央部約2.3%：1コマ目はリアルタイム測光、2コマ目以降は1コマ目と同じAEロック撮影）、スポット測光（各AFフレーム約3.5%）、中央部重点平均測光、

露出制御方式 ..... ① シャッター優先AE（1/3段ステップ）、② 絞り優先AE（1/3段ステップ）、③ 深度優先AE、④ インテリジェントプログラムAE、⑤ A-TTLプログラムストロボAE、⑥ TTLプログラムストロボAE、⑦ マニュアル、⑧ パルプ

**RS** 深度優先AEなし

測光範囲 ..... ① 評価測光・部分測光 EV 0～20（常温・50mm F1.4・ISO 100）、② ファインスポット測光 EV 3～20（常温・50mm F1.4・ISO 100）

**RS** ① 評価測光・部分測光 EV 1～20（常温・50mm F1.4・ISO 100）、② ファインスポット測光 EV 2～20（常温・50mm F1.4・ISO 100）

使用フィルム感度 ..... ISO 6～6400（DXコード自動設定 ISO 25～5000）

露出補正 ..... (1) AEB; 1/3段ステップ ± 3段、露出アンダー・標準・露出オーバーの順に撮影、フィルム巻き上げモードに従って繰り返し撮影可能、セルフタイマー併用時はフィルム巻き上げモードにかかわらず3コマ連続撮影

**RS** RSモードで設定時AEB設定は不可

(2) マニュアル補正；1/3段ステップ ± 3段、サブ電子ダイヤルあるいは露出補正ボタンとメイン電子ダイヤル操作による。  
AEBとマニュアル補正の併用可

AEロック ..... (1) オートAEロック；ONE SHOTオートフォーカス・評価測光時、合焦と同時にAEロック

(2) マニュアルAEロック；AEロックボタン押しにより全ての測光方式で可能

**RS** (1) オートAEロック；ONE SHOTオートフォーカス・評価測光時、合焦と同時にAEロック

(2) マニュアルAEロック；AEロックボタン押しにより全ての測光方式で可能  
ただし、RSモード時AF合焦後のAEロックは受けつけない。

多重露出 ..... 9回まで予約可能、予約回数撮影後自動解除（途中解除／再設定可）

## 主な性能の一覧

### ■ オートフォーカス

AF制御方式 …………… TTL-CT-SIR方式 (TTLクロスタイプ二次結像位相差検出方式)、AFセンサーに増幅器一体型のクロスタイプBASIS (Base-Stored Image Sensor) 使用、測距完了時フォーカス表示点灯と電子音で告知 (AF不能時 8 Hz点滅警告、電子音のON/OFF選択可)

測距点 …………… 5点

AFフレーム切り換え ……カメラにより自動選択または5つのAFフレームから任意の1つを選択

フォーカスモード ……(1) ONE SHOTオートフォーカス；測距完了で停止、AFロック、測距完了後リリース可

(2) AI SERVOオートフォーカス；実際の露光開始まで被写体の移動に追従作動、動体予測機能装備、測距完了にかかわらず随時リリース可 (連写時は予測駆動優先制御)、合焦表示なし、AF不能時のみ 8 Hz点滅表示

**RS** RSモードではAI SERVOオートフォーカスセット不可

(3) マニュアル；レンズのフォーカスモードスイッチをMにし、手動フォーカスリングを操作することにより可能

(4) マニュアル；露光中を除き、連続撮影中の電子リングによるマニュアルフォーカス可

**RS** 露光中を含め連続撮影中の電子リングによるマニュアルフォーカス可

AF測距輝度範囲 ……EV 0～18 (ISO 100)

AF補助光 ……………専用ストロボ使用時、必要に応じてストロボから自動投光

### ■ シャッター

型式 ……………全速電子制御・縦走りフォーカルブレンシャッター

**RS** 全速電子制御・縦走り二重遮光フォーカルブレンシャッター

シャッター速度 ……1/8000秒～30秒 (1/3段ステップ)、X同調最高速度 1/250秒

リリース方式 ……………ソフトタッチ電磁リリース

**RS** リーズタイムラグ ……RSモード時；シャッターボタン全押しから露光開始まで0.006秒

セルフタイマー ……電子制御時、時限10秒/2秒を選択、表示ランプ点滅 (作動開始時 2 Hz、リリース前 2秒 8 Hz)、表示パネル秒時減算で作動表示、メインスイッチ **L** で解除可

### ■ フィルム

#### 巻き上げ関係

フィルム装填 ……自動、フィルムセット後背ぶたを閉じると1コマ目まで自動空送りし停止（約3秒）

巻き上げ方式 ……内蔵モーターによる自動巻き上げ

- (1) EOS-1 N 単体；□（一枚撮り）、（連続撮影）の2モード
- (2) パワードライブブースター-E1装着時；□（一枚撮り）、L（低速連続撮影）、H（高速連続撮影）の3モード

**RS** □（一枚撮り）、L（低速連続撮影）、H（高速連続撮影）の3モード

フィルム巻き戻し …フィルム終了と同時に内蔵モーターにより自動巻き戻し（24枚撮りフィルム；約5秒、36枚撮りフィルム；約8秒）、途中巻き戻し可能、通常モード時59dB・サイレントモード時48dB

**RS** 高速巻き戻し 24枚撮りフィルム；約5秒、36枚撮りフィルム；約8秒

サイレント巻き戻し 24枚撮りフィルム；約13秒、36枚撮りフィルム；約20秒

### ■ 本体関係

フラッシュ接点 ……(1) アクセサリーシュー部；X・直結接点

(2) 本体右側面下部；JIS B型ソケット（ロックねじ付き）

\* (1)、(2) 同時使用、同時発光可

フラッシュオート ……EOS用スピードライト使用、カメラ側のプログラムAEモード設定により

(1) A-TTL自動調光；

ストロボ充電完了によりシャッター速度を同調速度（1/250秒～1/60秒）に自動設定、カメラ側のA-TTLプログラムおよびストロボによる近赤外線プリ発光により測距、被写体条件（距離・輝度）に応じた最適調光絞りを自動設定、フィルム面反射光によるTTL自動調光、自動日中シンクロ可

(2) TTL自動調光

ストロボ充電完了によりシャッター速度を同調速度（1/250秒～1/60秒）に自動設定、カメラ側のTTLプログラムにより調光絞りを自動設定、フィルム面反射光によるTTL自動調光、自動日中シンクロ可

\* (1)、(2) とも、シャッター優先AEで1/250秒以下の任意（1/3段ステップ）の同調シャッター速度を、絞り優先AEで任意の絞り値を選択可

## 主な性能の一覧

カスタム機能 ……14種類内蔵、選択設定可、(1) フィルム自動巻き戻しの設定、(2) フィルム巻き戻し終了時のフィルム先端状態、(3) フィルム感度の設定、(4) AF作動の変更、(5) マニュアルでのシャッター速度、絞り値の設定方法、(6) シャッター速度、絞り値、露出補正值、調光補正值、AEBの表示ステップ、(7) 電子式手動フォーカシングでの手動ピント合わせ、(8) 中央部重点平均測光の選択、(9) AEB撮影順、(10) AFフレームのスーパーインポーズ解除、(11) AFフレームの選択方法、(12) ミラーアップ撮影、(13) AFフレーム連動スポット測光の設定、(14) 日中シンクrostロボ発光コントロール

**RS** カスタム機能No. F-12を除きEOS-1 Nと同じ

F-12を0に設定：Aモード設定時AF合焦時の電子音なし

F-12を1に設定：Aモード設定時AF合焦時の電子音あり（RSモードではなし）

表示パネル ……撮影、測光、AF、フィルム巻き上げの各モード、シャッター速度、絞り値、撮影コマ数、電池容量チェックなどを表示、照明機能内蔵

リモートコントロール ……3端子リモートコントロール接点標準装備

電源 ……(1) リチウム電池2CR5、1個をグリップ部電池室に収納、(2) パワードライブブスターE1装着時はカメラからリチウム電池を取り外し、パワードライブブスターE1用電源（単3形アルカリマンガン乾電池（Ni-Cd電池・リチウム電池）8本、Ni-CdパックE1）から供給、(3) バッテリーバックBP-E1装着時はカメラからリチウム電池を取り外し、バッテリーバックBP-E1用電源（リチウム電池2CR5 1個、単3形アルカリマンガン乾電池4本または単3形Ni-Cd電池4本）から供給

**RS** 単3形アルカリマンガン乾電池（Ni-Cd電池・リチウム電池）8本、あるいはNi-CdパックE1

電池チェック ……電池チェックボタン押し、表示パネルに4段階表示

背ぶた ……コマンドバックE1（別売）と交換可能

大きさ ……161 (W)×112.1 (H)×71.8 (D) mm

**RS** 161 (W)×155.9 (H)×78 (D) mm

重さ ……855g（本体のみ、リチウム電池を除く）

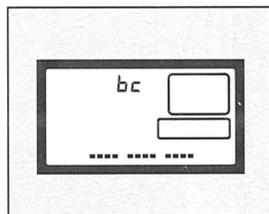
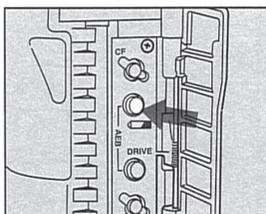
**RS** 1,295g（バッテリーマガジンを含む、電池を除く）

# 機能設定早わかり

あらかじめメインスイッチをAに設定してから以下の操作を行ってください。

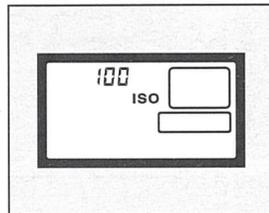
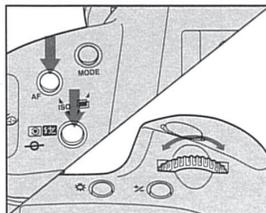
電源関係

電池容量を  
確認する  
16ページ参照

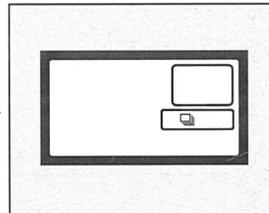
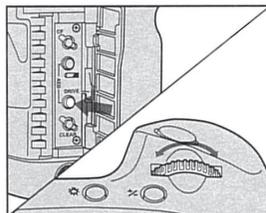


フィルム関係

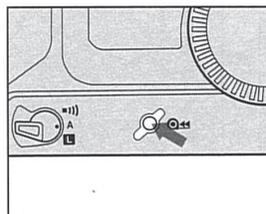
フィルム感度を  
確認する  
23ページ参照



連続撮影する  
68ページ参照

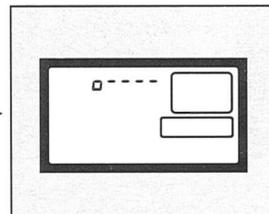
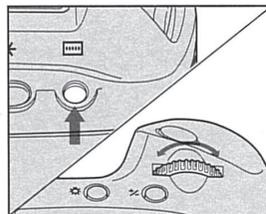


フィルムを  
途中で巻き戻す  
26ページ参照



フォーカス関係

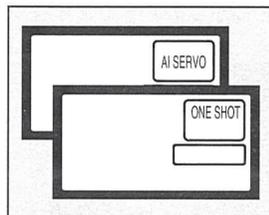
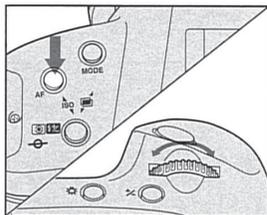
AFフレームを  
選択する  
30ページ参照



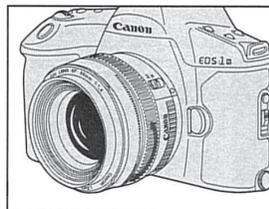
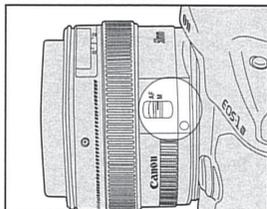
# 機能設定早わかり

フォーカス関係

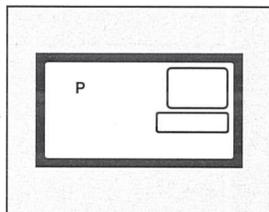
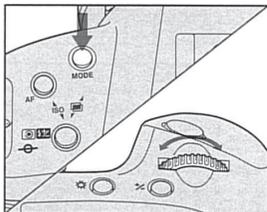
AFモードを  
切り換える  
33ページ参照



手動でピントを  
合わせる  
37ページ参照

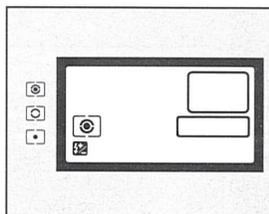
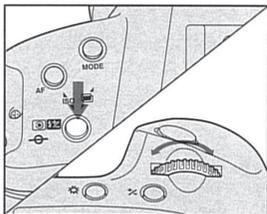


撮影モードを  
変更する  
49ページ参照

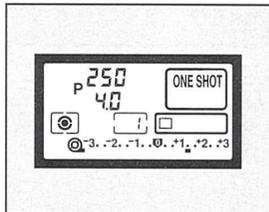
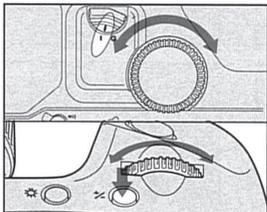


露出関係

測光方式を  
変更する  
38ページ参照

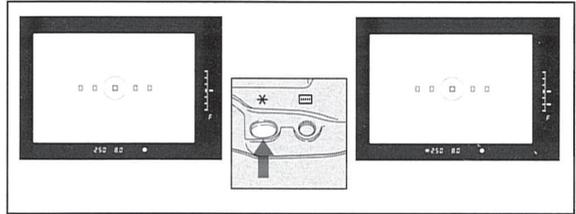


露出を補正する  
43・45ページ参照



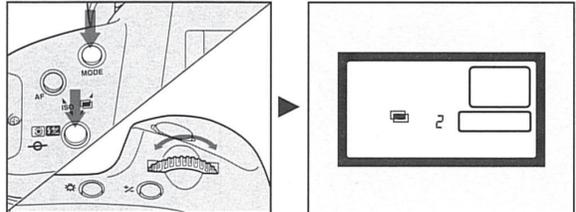
露出関係

AEロックして  
撮影する  
41ページ参照

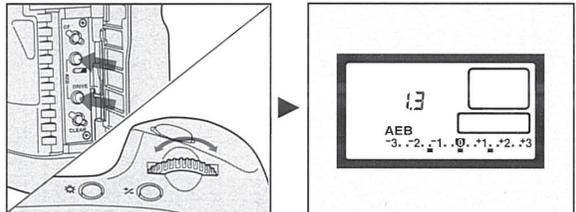


応用撮影

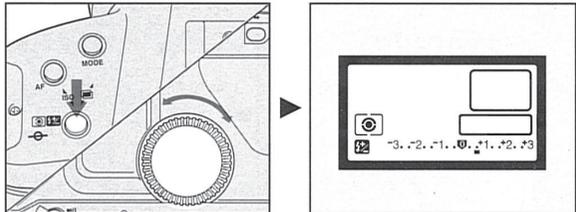
多重露光撮影  
する  
64ページ参照



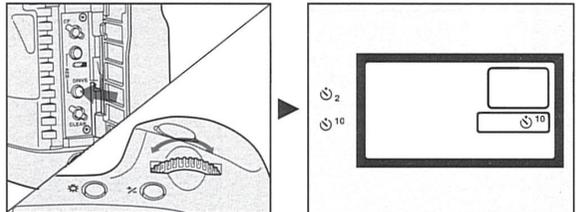
AEB撮影する  
46ページ参照



ストロボ調光  
補正する  
79ページ参照



セルフタイマー  
撮影する  
71ページ参照

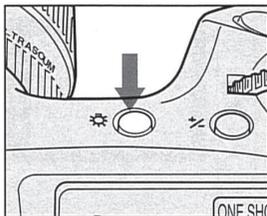


## 機能設定早わかり

### 応用撮影

表示パネルを  
照明する

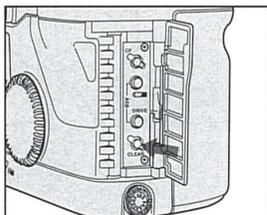
75ページ参照



設定機能を  
一括解除する

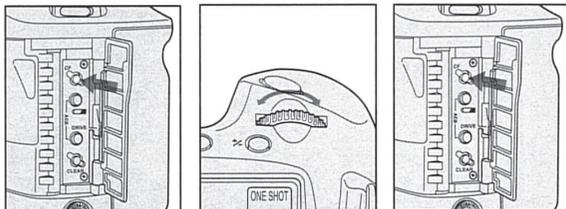
(カスタム機能以外)

76ページ参照



カスタム機能を  
利用する

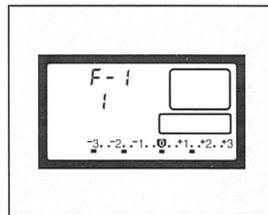
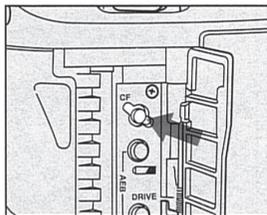
83ページ参照



### カスタム機能

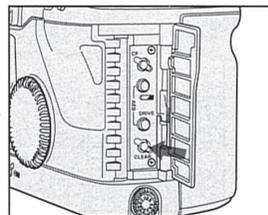
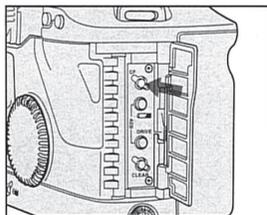
使用中の  
カスタム機能を  
確認する

84ページ参照



カスタム機能を  
一括解除する

76ページ参照



# カスタム機能一覧

カスタム機能No.	変更対象機能	シールマーク			
		0	1	2	3
F-1	フィルム自動巻き戻しの設定				
F-2	フィルム巻き戻し終了時のフィルム先端状態				
F-3	フィルム感度の設定	ISO DX	ISO M		
F-4	AF作動の変更	●AF ●AEL	●AEL ●AF	●AF ●AFL	
F-5	マニュアルでのシャッター速度、絞り値の設定方法	← Tv * Av	* Av ← Tv		
F-6	シャッター速度、絞り値、露出補正值、調光補正值、AEBの表示ステップ	1/3 STEP	1 STEP	1/2 STEP	
F-7	電子式手動フォーカシングでの手動ピント合わせ	AF M	AF		
F-8	中央部重点平均測光の選択				
F-9	AEB撮影順				
F-10	AFフレームのスーパーインポーズ解除				
F-11	AFフレームの選択方法				
F-12 (RS)	ミラーアップ撮影 (合焦時の電子音設定)				
F-13	AFフレーム連動スポット測光の設定				
F-14	日中シンクロストロボ発光コントロール				

- カスタム機能をより良く使っていただくために上記イラストのシールを用意してあります。側面カバーの内側に貼ってお使いください。
- 詳しくは文中86～94ページをご覧ください。

## アフターサービスについて

1. 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりはお客様にてご負担願います。
2. 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために不可欠な部品）は、日本国内において、10年間を目安に保有しています。したがって期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判定につきましてはお買い上げ店または、裏表紙記載の当社サービスセンターにお問い合わせください。
3. 修理品をご送付の場合は、見本のフィルムを添付するなど、修理箇所を明確にご指示のうえ、十分な梱包でお送りください。